データ管理

データBOX･LifeKitの各種ビューアについて

データの種類によって、それぞれのフォルダに保存されます。

- データの種類を選ぶと、前回データ参照を終了したときの参照先(FOMA端末(本体)またはmicroSDカード)が表示されます。

データBOXについて

■ マイピクチャ(☞P.325)

- FOMA端末で撮影した静止画やダウンロードした画像が保存されます。

マイピクチャ(本体)	
→microSD	[マイピクチャ(microSD)]に切り替え
カメラ	FOMA端末で撮影した静止画用フォルダ
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR/Fなどで入手した画像用フォルダ
デコメピクチャ	デコメール®作成時に利用できる画像用フォルダ
デコメ絵文字※1	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている画像用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)、IrSS™通信を利用して入手した画像用フォルダ
アイテム	サイトなどから入手したフレームやスタンプ用フォルダ
(ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
ｉモードで探す	ｉモードに接続

マイピクチャ(microSD)	
→本体	[マイピクチャ(本体)]に切り替え
カメラフォルダxxx※2	FOMA端末で撮影した静止画やDCF準拠のJPEG画像、GIF画像(GIFアニメーションを除く)用のフォルダ
(カメラフォルダ用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
その他静止画	FOMA端末(本体)からコピーしたGIFアニメーションやDCF準拠していないJPEG画像、Flash画像用フォルダ
(その他静止画用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
デコメ絵文字	デコメール®作成時に利用できる絵文字用フォルダ
(デコメ®絵文字用ユーザフォルダ)	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できない画像用フォルダ

※1 デコメ®絵文字は[デコメ絵文字]フォルダへ直接保存されます。また、デコメ®絵文字以外のデータは保存できません。

※2 撮影した静止画を保存したり、FOMA端末(本体)から静止画をコピーすると[カメラフォルダ100]が自動的に作成され、ファイル数が1000件になると、[カメラフォルダxxx](｢xxx｣は100～999の３桁の半角数字)という名前のフォルダが自動的に作成されます。

■ ミュージック(☞P.263)

- 着うたフル®やWMAファイルが保存されます。

■ Music&Videoチャネル(☞P.259)

- 取得したMusic&Videoチャネルの番組が保存されます(☞P.259)。

■ ｉモーション/ムービー(☞P.331)

- FOMA端末で撮影した動画や録音した音声、取得したｉモーションが保存されます。

ｉモーション／ムービー（本体）	
→microSD	［ｉモーション／ムービー（microSD）］に切り替え
カメラ	FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR／Fなどで入手したｉモーション用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているｉモーション用フォルダ
外部取得データ	microSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したｉモーション用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
ｉモードで探す	ｉモードに接続
ｉモーション／ムービー（microSD）	
→本体	［ｉモーション／ムービー（本体）］に切り替え
カメラフォルダ	FOMA端末で撮影した動画用フォルダ
（カメラフォルダ用ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
レコーダー連携	ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画用フォルダ
マルチメディア※	音声のみのｉモーションやボイスレコーダーで記録したデータ、およびパソコンから転送したデータ用フォルダ
（カメラ・マルチメディア用ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないｉモーション用フォルダ

※［マルチメディア］フォルダにはデータを1000件まで保存できます。ファイル形式はMP4です。また、パソコンからは、MP4、ASF、3GPP形式のファイルが転送できます。ファイル名は、MMF0001～MMF9999です。FOMA端末では、1000件まで参照することができますが、次の場合には、データが表示されないことがあります。

■ 再生できないデータがあるとき
■ 1001件以上データが存在するとき
■ ファイル名が「MMFxxxx」（「xxxx」は数字）でないとき

■ ワンセグ（☞P.337）

● FOMA端末で録画したビデオや静止画が保存されます。

ワンセグ（本体）	
→microSD	［ワンセグ（microSD）］に切り替え
イメージ	ワンセグで録画した静止画用フォルダ
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ
ワンセグ（microSD）	
→本体	［ワンセグ（本体）］に切り替え
ビデオ	ワンセグで録画したビデオ用フォルダ

■ メロディ（☞P.342）

● メロディが保存されます。

メロディ（本体）	
→microSD	［メロディ（microSD）］に切り替え
ｉモード	サイトやｉモードメール、メッセージR／Fなどで入手したメロディ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているメロディ用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したメロディ用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
ｉモードで探す	ｉモードに接続
メロディ（microSD）	
→本体	［メロディ（本体）］に切り替え
メロディ	あらかじめ用意されているメロディ用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

メロディ（microSD）	
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないメロディ用フォルダ

■ マイドキュメント（☞P.366）

● PDFデータが保存されます。

マイドキュメント（本体）	
→microSD	[マイドキュメント（microSD）]に切り替え
iモード	サイトやiモードメール、メッセージR／Fなどで入手したPDF用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているPDF用フォルダ
外部取得データ	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、iC通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を利用して入手したPDF用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
マイドキュメント（microSD）	
→本体	[マイドキュメント（本体）]に切り替え
PDF	FOMA端末（本体）からコピーしたり、サイトやiモードメール、メッセージR／Fなどで入手したPDF用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

■ きせかえツール（☞P.107）

● きせかえツールが保存されます。

きせかえツール（本体）	
→microSD	[きせかえツール（microSD）]に切り替え
iモード	サイトなどで入手したきせかえツール用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているきせかえツール用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
iモードで探す	iモードに接続

きせかえツール（microSD）	
→本体	[きせかえツール（本体）]に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないきせかえツール用フォルダ

■ マチキャラ（☞P.341）

● マチキャラが保存されます。

マチキャラ（本体）	
→microSD	[マチキャラ（microSD）]に切り替え
iモード	サイトなどで入手したマチキャラ用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているマチキャラ用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
iモードで探す	iモードに接続
マチキャラ（microSD）	
→本体	[マチキャラ（本体）]に切り替え
移行可能コンテンツ	FOMA端末から移動したり、サイトなどからダウンロードした、FOMA端末外に出力できないマチキャラ用フォルダ

■ キャラ電（☞P.340）

● キャラ電が保存されます。

キャラ電	
iモード	サイトなどで入手したキャラ電用フォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されているキャラ電用フォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

LifeKitの各種ビューアについて

■ マンガ・ブックリーダー（☞P.370）

● 電子書籍など（電子書籍／電子辞書／電子コミック）を表示できます。

マンガ・ブック（本体）	
→microSD	［マンガ・ブック（microSD）］に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手した電子書籍などのフォルダ
ｉモード	サイトなどで入手した閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
プリインストール	あらかじめ登録されている電子書籍などのフォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ
マンガ・ブック（microSD）	
→本体	［マンガ・ブック（本体）］に切り替え
マンガ・ブックリーダー	サイトなどで入手したり、パソコンなどから保存した電子書籍などのフォルダ
マンガ	サイトなどで入手した、閲覧制限が設定されている電子書籍などのフォルダ
（ユーザフォルダ）	お客様が作成できるフォルダ

■ ドキュメントビューア（☞P.369）

● microSDカードに保存されているMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや画像ファイルなどを表示できます。

ドキュメントビューア	
ドキュメント	パソコンなどから保存したドキュメント用フォルダ
カメラフォルダxxx	データBOXの［マイピクチャ（microSD）］内と同じ内容を表示します。 ［カメラフォルダxxx］には、ドキュメントビューアで切り出した静止画も保存されます。
（カメラフォルダ用ユーザフォルダ）	
その他静止画	
（その他静止画用ユーザフォルダ）	

■ PDF対応ビューア（☞P.366）

● ［PDF対応ビューア］内のフォルダ一覧はデータBOXの［マイドキュメント］内と同じ内容を表示します。

データ一覧画面の見かた

フォルダを選ぶとデータ一覧画面が表示されます。

● 表示方法の変更については☞P.325

例：［カメラ］フォルダのデータ一覧画面（表示切替：［ビジュアルメニュー］）

1 ファイル種別アイコン
2 タイトル名
3 詳細情報マーク

● タイトル表示は、全角８文字（半角16文字）までです（文字サイズの設定や一覧画面の表示方法により、表示される文字数は異なる場合があります）。

● ｉモーションの場合、画像の代わりに次のように表示されるときがあります。

■ ［♪］が表示
- 音声のみのデータ
- 画像サイズが非対応のデータ
- 画像ファイル形式が非対応のデータ

■ ［■］が表示
- テキストのみのデータ
- 画像が壊れていたり表示できないデータ
- ［移行可能コンテンツ］フォルダ内で、FOMAカードセキュリティ機能が設定されたデータ

■ ［□］が表示
- ダウンロードの途中で保存したデータ

データ管理

● PDFデータの場合、画像の代わりに[ ]や[ ]、[ ]と表示される場合があります。PDF対応ビューアを起動すると画像が表示されるようになります。

アイコンの種類とマークの説明

■ ファイル種別アイコン

静止画の種類

JPEG				
10M：2736×3648	5 M：1944×2592	3 M：1536×2048	フルHD：1080×1920	待受：480×854

JPEG					
VGA：480×640	ワンセグ：320×180	QVGA：240×320	QCIF：176×144	アイコン：152×152	76×76

JPEG		GIF画像 GIFアニメーション	Flash画像
パノラマ：2560×640	その他		

ｉモーションの種類

MP4（Mobile MP4）				ブルーレイディスクレコーダーから転送	ASF
再生制限なし	再生制限あり				
	再生期間	再生期限	再生回数		

メロディの種類

SMF	MFi	
	3D情報なし	3D情報あり

PDFの種類

すべてのページをダウンロード	ページ単位で部分的にダウンロード	ダウンロード失敗

FOMAカードセキュリティ機能が設定されたファイル

FOMAカード動作制限あり

メロディの種類について

● MFi（3D情報あり）を［移行可能コンテンツ］フォルダに保存したときは、MFi（3D情報なし）が表示されますが、3D情報は保持しています。

■ 詳細情報マーク

	メール添付やFOMA端末外への出力ができないようにファイル制限されているファイル
	フレーム画像、またはスタンプ画像
	ｉモードなどで取得したファイル※
	バーコードリーダーやmicroSDカード、赤外線通信、ｉＣ通信、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02、IrSS™通信を利用して取得したファイル※
	カメラ撮影したファイル
	テレビ電話中に撮影した静止画メモ
	電子書籍などで保存した静止画

JPG PDF	PDF対応ビューアの表示画面を切り出して保存した静止画
	位置情報が付加されている静止画
	ワンセグで録画した静止画

※ フレーム画像、スタンプ画像は除く

表示方法を変更する

■ データ／フォルダ一覧画面の表示方法を変更する<表示切替>

例：マイピクチャのとき

1 **データ一覧画面で📷▶［静止画設定］▶［表示切替］**

2 **表示方法を選ぶ▶⊙**

- ビジュアルメニュー／リスト表示中のページ切替：⊙
- 5分割／詳細表示中のページ切替：⊙

● 設定できる項目は画面によって異なります。

■ ビジュアルメニュー表示中のタッチ操作について

例：［カメラ］フォルダのデータ一覧画面

- 画像／プレビュー表示をタッチすると、画像表示画面が表示されます。
- カーソルを移動させるときは、カーソルを合わせたい画像をタッチしたまま上下にスライドします。
- 画像をロングタッチするとロングタッチメニューが表示されます。
- 複数のページがある場合は、左右にすばやくスライドしてページを切り替えます。

■ 全画面モードで表示する

1 **画像／ｉモーションのデータ一覧画面で画像を選ぶ▶i**

イメージビューア

保存した画像を表示する

データBOXのマイピクチャに保存された画像を表示します。

1 **カスタムメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］**

2 **画像を選ぶ▶⊙**

画像表示画面

● 画像の保存件数が多くなると画像表示が遅くなるときがあります。
● サイトなどからダウンロードしたGIFアニメーションやFlash画像は、見えかたが異なるときがあります。

■ 画像表示画面のボタン操作

全画面モード切替（JPEG画像）	⊙	顔検出ズーム（JPEG画像）	✓
縮小／等倍／拡大（GIF画像）	⊙	次の画像を表示	⊙
		前の画像を表示	⊙
再生／停止（Flash画像）	⊙	左90度回転（JPEG画像）	i
縮小（JPEG画像）※	1		
ピクチャテーブル表示（JPEG画像以外）	1	表示切替（全画面モード⇔通常モード）	i
等倍⇔フィット	2	メール／ブログ機能	✉
拡大（JPEG画像）	3	ライトアップ	#（1秒以上）
エフェクト切替	5		

※ 縮小し続けると、ピクチャテーブル表示になります。

● GIFアニメーションやFlash画像は、縮小／等倍／拡大の切り替えができません。

次ページへ続く▶▶

- 次／前の画像を表示するときに画像が乱れたり、表示されないことがあります。
- Flash画像再生中は、表示切替できません。停止してから操作してください。

■ タッチパネル操作

ビューアポジションで画像表示中はタッチパネルで操作します。

- タッチパネルの主な操作については☞P.39
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
▶II	再生／停止※1	Back	前の画像を表示※2
IrSS	高速赤外線通信（IrSS™機能）で送信	Next	次の画像を表示※2
✉	メール添付／メール挿入／ブログ投稿		

※1　Flash画像の場合に表示されます。
※2　ロングタッチすると、連続して画像を切り替えます。

- 次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
次へ／前へ	左右にスライド
ズームバー表示※1	ロングタッチ
拡大／縮小※2	2本の指の間隔を広げる／狭める

※1　ズーム可能なJPEG画像のみ表示されます。ズームバーのスライダを左右にスライドするか、ズームバーをタッチして画像を拡大／縮小します。
※2　縮小し続けると、ピクチャテーブル表示になります。

- 画像を拡大して表示している場合は、上下左右にスライドして表示位置を変更します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成]　☞P.356
- ▶[フォルダ名編集]　☞P.357
- ▶[フォルダセキュリティ]　☞P.357

[削除]　☞P.357

[スライドショー]
- 指定したフォルダ内の画像を連続して表示します。
- ▶[スライドショー開始]
- ▶[再生間隔]▶速度を選ぶ▶⦿
- ▶[効果設定]▶効果を選ぶ▶⦿

[ピクチャテーブル]　☞P.328

[microSDへ移動]　☞P.350

[microSDへ全件コピー]　☞P.348

[データ送信]
- ▶[赤外線送信]　☞P.363

[静止画設定]
- ▶[表示切替]　☞P.325
- ▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⦿
  - 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[本体⇔microSD切替]

■ 画像一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.326）を参照してください。
  - ■ スライドショー
  - ■ データ送信（赤外線送信）
  - ■ 静止画設定（表示切替、バックライト点灯時間）
  - ■ 本体⇔microSD切替

[データ編集]
- ▶[画像編集]　☞P.329
- ▶[プチエステ]　☞P.331
- ▶[タイトル編集]　☞P.357
- ▶[ファイル名編集]　☞P.358
- ▶[ファイル制限]▶設定を選ぶ▶⦿
  - 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。

[削除] ☞P.358

[画面設定] ☞P.328

[情報表示] ☞P.358

[移動／コピー]

▶[フォルダ間移動] ☞P.358

▶[microSDへ移動] ☞P.350

▶[microSDへコピー] ☞P.349

[データ送信]

▶[ｉC送信] ☞P.365

▶[地点情報送信] ☞P.403

[お預かりセンターに保存] ☞P.129

[静止画設定]

▶[ソート] ☞P.358

▶[音量設定]▶で音量を調節▶

- Flash画像再生時の音量を調節します。

[位置情報] ☞P.317

[サイト接続]

[ファイル制限]について

- 撮影または編集して、直接保存したデータにのみ設定できます。

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.326)を参照してください。
  - ■ ピクチャテーブル
  - ■ データ送信(赤外線送信)
  - ■ 静止画設定(バックライト点灯時間)
- 次の機能については、画像一覧画面のサブメニュー操作(☞P.326)を参照してください。
  - ■ 画面設定
  - ■ 情報表示
  - ■ データ送信(ｉC送信、地点情報送信)
  - ■ 静止画設定(音量設定)
  - ■ サイト接続

[リトライ](Flash画像のみ)

- 再生をやり直します。

[メール／ブログ機能]

- 以降の操作については☞P.228「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作2へ

[データ編集]

▶[画像編集](Flash画像以外) ☞P.329

▶[プチエステ](Flash画像以外) ☞P.331

▶[タイトル編集] ☞P.357

▶[ファイル名編集](Flash画像以外) ☞P.358

▶[ファイル制限](Flash画像以外)▶設定を選ぶ▶

- 静止画のFOMA端末外への出力を制限します。

[1件削除] ☞P.358

[ズーム](Flash画像以外)▶ズームの種類を選ぶ▶

[回転](Flash画像以外)▶回転の方向(角度)を選ぶ▶

[移動／コピー]

▶[1件移動] ☞P.358

▶[microSDへ1件移動] ☞P.350

▶[microSDへ1件コピー] ☞P.349

[バックライト点灯時間](Flash画像のみ)▶設定を選ぶ▶

- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

[エフェクト設定](Flash画像のみ)▶設定を選ぶ▶

- 次／前の画像に切り替えるときのエフェクト(効果)を設定します。

[お預かりセンターに保存](Flash画像以外)

- 以降の操作については☞P.129「データをお預かりセンターに保存する」の操作3へ

[静止画設定](Flash画像以外)

▶[エフェクト設定]▶設定を選ぶ▶

- 次／前の画像に切り替えるときのエフェクト(効果)を設定します。

次ページへ続く

▶［自動回転設定］▶設定を選ぶ▶⊙
● JPEG画像の場合、ディスプレイ内で最大に見えるように、自動的に回転して表示できます。

▶［全画面モード］

▶［ワイドモード］

▶［ライトアップ］

［位置情報］（Flash画像以外） ☞P.317

● Flash画像再生中は操作できません。停止してから操作してください。

［ズーム］について

● GIFアニメーションやFlash画像はズームできません。
● GIF画像は［等倍⇔フィット］のみ選択できます。
● 次のような画像は、顔検出ズームができない場合があります。
  ■ 顔が小さい　■ 顔が正面を向いていない
  ■ 複数の顔がある　■ 顔の前に物などがある

［回転］について

● JPEG画像以外の画像は回転できません。

［自動回転設定］について

● JPEG画像以外の画像は設定できません。

［全画面モード］、［ワイドモード］について

● 全画面モードはディスプレイ内に納まるサイズ、ワイドモードは余白が付かないサイズです。

ピクチャテーブル表示にする<ピクチャテーブル>

ピクチャテーブル表示にすると、指定したフォルダ内の画像を縮小して一覧で表示します。

1 カスタムメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］

2 フォルダを選ぶ▶［📷］▶［ピクチャテーブル］

• ［📖］を押しても、ピクチャテーブル表示にすることができます。
• 全画面表示：［i］
• フォルダ切替：［📷］▶フォルダを選ぶ▶⊙
• 画像を選択すると、画像表示画面が表示されます。

■ タッチパネル操作

ビューアポジションでピクチャテーブル表示中はタッチパネルで操作します。

● タッチパネルの主な操作については☞P.39
● コントロールボタンで次の操作ができます。

	フォルダ切替

● 次のタッチ操作ができます。

カーソルの移動	カーソルをタッチしたまま上下左右にスライド
画面をスクロール※	上下にスライド
画像表示画面の表示	画像をタッチ

※ スクロールバーのスライダを上下にスライドするか、スクロールバーをタッチしてもスクロールできます。

画像を待受画面などに設定する<画面設定>

1 カスタムメニューで［データBOX］▶［マイピクチャ］

2 静止画を選ぶ▶［📷］▶［画面設定］

3 画面設定の種類を選ぶ▶⊙

• 待受画面に設定するとき：［待受画面設定］▶設定先を選ぶ▶⊙▶［はい］
  ・ 画像のサイズによっては、表示サイズ選択画面が表示されます。表示サイズを選んでください。
• 電話帳に登録するとき：［電話帳画像設定］▶電話帳に登録
• スケジュールを作成するとき：［スケジュール画像設定］▶スケジュールを登録

● フレームやスタンプ、ワンセグで録画した静止画は画面設定できません。
● microSDカード内の静止画は、直接設定できません。FOMA端末（本体）にコピー／移動してから登録してください。
● Flash画像は、待受画面、発着信画面、メール送受信画面に設定できます。
● 一部のJPEG画像とGIFアニメーション、GIF画像は、お知らせウィンドウアニメに設定できません。

- スケジュールを作成する場合、表示されるスケジュールの予定登録画面には、あらかじめ次の内容が登録されます。
  - ■ 日時：静止画の保存日時　■ 画像：静止画のタイトル名

静止画を添付してｉモードメールを送信する

静止画をメールに添付して送信できます。また、デコメール®として送信したり、ブログ／SNSに投稿することもできます。

- ファイルの添付については☞P.140

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶✉

3 送信方法を選ぶ▶⊙

- 送信方法については☞P.228「撮影後すぐに静止画または動画を送る」の操作２へ

4 メール／デコメール®を作成･送信

静止画を高速赤外線通信で送信する（IrSS™機能）

マイピクチャから静止画（JPEG画像）を選択して、IrSS™機能対応機種に送信できます。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶📖

- 受信側のFOMA端末を受信待ち状態にします。

3 送信方法を選ぶ▶⊙

- ［縮小して送信］を選択すると、画像サイズを「2048×1536」／「1536×2048」以下、ファイルサイズを1.2Mバイト以下に縮小して送信します。
- 通信の中止：📷

- IrSS™機能とは、IrSimple™ 1.0規格準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）です。
- IrSS™通信は、片方向通信のため受信側からの応答を確認せずに送信します。受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

画像編集

静止画を編集する

画像編集では、編集前と編集後の静止画を見比べながら、連続して編集できます。

- 編集前の静止画のサイズによっては、利用できない編集メニューがあります。
- 画像エフェクトや画像補正、プチエステなどは、静止画によって効果に差があります。
- FOMA端末外から取得した静止画は編集できないときがあります。
- 画像編集を行うと画質が劣化したり、データの容量が増減するときがあります。
- Flash画像やGIFアニメーションは編集できません。
- 人物の顔などを編集した静止画は、人格権および肖像権を尊重し、中傷にならないようにご配慮ください。
- 編集した静止画は圧縮して保存し直されるため、編集中の静止画とは異なって見えることがあります。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶📷▶[データ編集]▶[画像編集]

- 📖を押すと画像編集メニューの非表示／表示を切り替えることができます。画像編集メニューを選択して編集することができます。

3 静止画を編集

画像編集画面

4 ⓘ▶[はい]

- 保存後に続けて編集するとき：✉

次ページへ続く▶▶

5 [OK]

- タイトルの編集:[タイトル編集]▶タイトルを編集▶⦿
  - 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 保存先の変更:[フォルダ変更]▶フォルダを選ぶ▶📷
- 保存してメールに添付:[メール作成]▶メールを作成・送信

■ タッチパネル操作

ビューアポジションで画像編集中はタッチパネルで操作します。

- タッチパネルの主な操作については☞P.39
- コントロールボタンで次の操作ができます。

Complete	編集を完了	Edit ON/OFF	画像編集メニューの表示／非表示
Save	保存	Check	画像編集画面に戻る※

※ 画像表示画面でのみ操作できます。

- 次のタッチ操作ができます。

画像表示画面の表示	画像をタッチ

■ 画像編集画面のサブメニュー操作

[編集前画像確認]	
[編集後画像確認]	
[画像切り出し]	☞P.331
[サイズ変更]▶サイズを選ぶ▶⦿	
[画像回転]▶種類を選ぶ▶⦿	
[エフェクト]	
▶[画像エフェクト]▶種類を選ぶ▶⦿ ● 静止画の色合いやタッチを変更します。	
▶[フェイスエフェクト]▶種類を選ぶ▶⦿ ● 人物の顔に喜怒哀楽などの表情効果を付けます。	
[画像補正]▶種類を選ぶ▶⦿ ● 静止画にシャープネスやソフトなどの補正をかけることができます。	
[スタンプ]	
▶[画像スタンプ]▶スタンプを選ぶ▶[i]▶✥で貼り付け位置を調整▶⦿▶[i]	
▶[フェイススタンプ]▶種類を選ぶ▶⦿	
▶[文字スタンプ]	☞P.331
[フレーム]▶種類を選ぶ▶[i]	
[顔検出位置修正]	☞P.331
[元に戻す]▶[はい]	

[サイズ変更]について

- サイズ変更しても縦横比は変更されません。縦横比が異なる画像をアイコンやテレビ電話代替画像に使用する場合は画像切り出しを利用してください。
- 現在の横(縦)サイズを変換後の横(縦)サイズに拡大または縮小します。「アイコン:152×152」にサイズ変更する場合、上下(左右)が足りないときは、静止画を中央に配置して上下(左右)に余白が付きます。
- [デコメール用]にサイズ変更する場合、画像が縮小される旨の確認メッセージが表示されたときは、[はい]を選択するとサイズ変更できます。

[画像回転]について

- 画像サイズが「1280×960」より大きいときは、画像が縮小される旨の確認メッセージが表示されます。[はい]を選択すると回転できます。
- 縦と横のサイズが異なる静止画を90度回転させると、縦横比が変わります。
- 静止画によっては、保存先フォルダを指定できないときがあります。

[フェイスエフェクト]、[フェイススタンプ]について

- 静止画内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないことがあります。フェイスエフェクト／フェイススタンプには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている静止画を使用してください。
- 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.331

[フレーム]について

- FOMA端末にはあらかじめ「待受:480×854」、「VGA:480×640」、「QVGA:240×320」、「QCIF:176×144」用のフレームが登録されています。

[元に戻す]について

- 取り消しは1回のみ可能です。続けて取り消し操作を行うと、未編集状態に戻ります。

静止画のサイズを修正する<画像切り出し>

1 画像編集画面で[カメラ]▶[画像切り出し]

2 サイズを選ぶ▶●

3 ✣で切り出し部分を指定▶●

- 画面の拡大／縮小：[カメラ]／[i]
  - ・[アイコン(12分割)]のときは拡大・縮小できません。

● 現在の横サイズを変換後の横サイズに拡大または縮小します。上下が足りないときは、静止画を中央に配置して、上下に余白が付きます。

文字スタンプを貼り付ける<文字スタンプ>

1 画像編集画面で[カメラ]▶[スタンプ]▶[文字スタンプ]

2 種類を選ぶ▶●

- [フリーワード]のとき：文字を入力▶●
  - ・全角11文字(半角22文字)まで入力できます。文字が画面の幅を超えるときは、はみ出した部分が削除されます。

3 ✣で貼り付け位置を調整

- 文字サイズの変更：[メール]／[本]
- 文字色の変更：[カメラ]▶文字色を選ぶ▶●

4 ●

各部の輪郭情報を手動で設定する<顔検出位置修正>

フェイスエフェクトやフェイススタンプ、プチエステで利用する顔の各部の輪郭情報を、手動で設定できます。

1 画像編集画面で[カメラ]▶[顔検出位置修正]

2 指定する部位を選ぶ

- 顔の輪郭を指定(赤枠)：[i]
- 口の輪郭を指定(黄枠)：[カメラ]
- 左目の輪郭(緑枠)と右目の輪郭(青枠)を指定：[メール]
- それぞれのボタンを押すたびに、[+]の位置が切り替わります。

3 輪郭を指定する

例：顔の輪郭のとき

✣で輪郭の左上に[+]カーソルを合わせる。

✣で輪郭の右下に[+]カーソルを合わせる。

- 操作2～3をくり返し、すべての輪郭を指定します。

4 ●

人物の顔をメークアップする<プチエステ>

人物の顔の静止画に、美白やナチュラルのメークアップ効果をかけることができます。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マイピクチャ]

2 静止画を選ぶ▶[カメラ]▶[データ編集]▶[プチエステ]

3 [カメラ]▶効果を選ぶ▶●

- 静止画の保存については☞P.329「静止画を編集する」の操作4へ

● 顔の輪郭情報が正しく抽出できないときは☞P.331

iモーションプレーヤー

動画／iモーションを再生する

データBOXのiモーション／ムービーに保存されたiモーションを再生します。

● 市販のBluetooth機器を接続すると、iモーションの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.401)。

次ページへ続く▶▶

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[iモーション／ムービー]

2 iモーションを選ぶ▶◉

再生状態のマーク

iモーション再生画面

再生状態のマーク

再生状態	音量	0～25
	リピート再生	
	Dolby Mobile 設定	
	オリジナルの設定項目を選んだとき	Ss NB SLc Ms
	Bluetooth出力中	
	画像サイズ	SQCIF QCIF CIF QQVGA HQVGA QVGA WQVGA VGA FWVGA WIDE
	バッファリング中表示（標準タイプ・ストリーミングタイプ）	
	ダウンロード未完了	
再生種別	音声あり	
	映像あり	
	テロップあり	
	音声再生不可	
	映像再生不可	

- 再生可能なiモーションの種類は次のとおりです。

ファイル形式		符号化方式
MP4（拡張子：「.mp4」「.3gp」「.m4a」）	映像	MPEG-4、H.263、H.264
	音声	AMR、AAC、HE-AAC、Enhanced aacPlus
ASF（拡張子：「.asf」）	映像	MPEG-4
	音声	AMR、G.726

- 符号化方式がH.263のiモーションは、「CIF：352×288」、「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」が再生可能です。
- 符号化方式がH.264のiモーションは、Baseline ProfileとMobile Profileのみ再生可能です。
- 符号化方式がMPEG-4の場合、「720×480」より大きいサイズのiモーションは再生できません。符号化方式がH.264の場合、「864×480」より大きいサイズのiモーションは再生できません。
- iモーションにテロップが付いていても、テロップは表示されません。
- ダウンロード途中で保存したiモーションを選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。
- 音声のみのiモーションを再生すると、画面には固定のアニメーションが表示されます。
- 再生中に着信やアラーム動作があると、再生は中止され、iモーションの停止画面に戻ります。
- 再生中にFOMA端末を閉じても、再生は継続されます。

■ iモーション再生画面のボタン操作

一時停止／再生	◉
停止	
音量調節（音量0～25）※1	
早送り※2	（1秒以上）
早戻し※2	（1秒以上）
次のiモーションを再生※3	
前のiモーションを再生※3	
コマ送り（一時停止中）	

データ管理

コマ戻し(一時停止中)	⊖
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※4※5	1:先頭 2～9:総再生時間の約1/9ずつ先の位置
ライトアップ	#(1秒以上)
表示切替(全画面モード⇔通常モード)	i

※1 ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※2 [レコーダー連携]フォルダ内の動画のときは、早送り／早戻し中に通常再生になることがあります。
※3 iモーション停止中も操作できます。
※4 録画時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。
※5 [レコーダー連携]フォルダ内の動画はジャンプできません。

- 通常ポジションで全画面モード中は⊙と⊙の操作が入れ替わります。FOMA端末を横向きに持って操作してください。

- データに制限があるときなど、操作ができなかったり、再生画面の総再生時間が正しく表示されないことがあります。

■ タッチパネル操作

ビューアポジションでiモーション再生中はタッチパネルで操作します。

- タッチパネルの主な操作については☞P.39
- コントロールボタンで次の操作ができます。

⏮ Hold ◀◀	前のiモーションを再生※1	Volume Hold	音量ダウン※2
▶II	一時停止／再生	■ Stop	停止
⏭ Hold ▶▶	次のiモーションを再生※1	Change Screen	表示切替
Volume Hold	音量アップ※2	✉	添付メール作成※3

※1 ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。
※2 ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。
※3 添付可能な場合に表示されます。

- 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
次／前のiモーションを再生	左右にすばやくスライド

- ビューアポジションの横表示で次／前のiモーションを再生するときは、エフェクトを付けてiモーションを切り替えます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.356
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.357
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.357

[削除] ☞P.357

[連続再生]
- ▶[連続再生開始]
  - 指定したフォルダ内のiモーションを連続して再生します。
- ▶[リピート再生設定]▶設定を選ぶ▶⊙
- ▶[ダイジェスト再生設定]▶再生時間を選ぶ▶⊙
  - 各iモーションの最長再生時間を設定します。

[microSDへ移動] ☞P.350

[microSDへ全件コピー] ☞P.348

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.363

[iモーション／ムービー設定]
- ▶[表示切替] ☞P.325
- ▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⊙
  - 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

[本体⇔microSD切替]

[連続再生開始]について
- 連続再生を㊞で停止した場合、⊙を押すと、停止したiモーションの先頭から連続再生が再開されます。

- 再生回数に制限のあるｉモーションや、再生期間の制限を超えたｉモーションは再生されません。確認メッセージが表示され、次のｉモーションが再生されます。
- ダウンロードの途中で保存したｉモーションは再生されません。次のｉモーションが再生されます。

■ 映像一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作（☞P.333）を参照してください。
  - ■ 連続再生　■ データ送信（赤外線送信）
  - ■ ｉモーション／ムービー設定（表示切替、バックライト点灯時間）
  - ■ 本体⇔microSD切替

[データ編集]
- ▶[映像編集] ☞P.336
- ▶[タイトル編集] ☞P.357
- ▶[ファイル名編集] ☞P.358
- ▶[ファイル制限]▶設定を選ぶ▶⊙
  - 動画のFOMA端末外への出力を制限します。

[削除] ☞P.358

[音・映像設定] ☞P.335

[情報表示] ☞P.358

[移動／コピー]
- ▶[フォルダ間移動] ☞P.358
- ▶[microSDへ移動] ☞P.350
- ▶[microSDへコピー] ☞P.349

[データ送信]
- ▶[ｉＣ送信] ☞P.365

[ｉモーション／ムービー設定]
- ▶[ソート] ☞P.358
- ▶[レジューム再生設定]▶設定を選ぶ▶⊙

[ファイル制限]について
- 撮影または編集して、直接保存したデータにのみ設定できます。

[レジューム再生設定]について
- FOMA端末（本体）に保存されたｉモーションには設定できません。
- [マルチメディア]フォルダ、[移行可能コンテンツ]フォルダのｉモーションには設定できません。
- レジューム再生を[ON]に設定すると、microSDカードに保存されたｉモーションの再生が着信などで中断されても、中断されたところから再生を再開することができます。

■ ｉモーション再生画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、映像一覧画面のサブメニュー操作（☞P.334）を参照してください。
  - ■ データ編集　■ 音・映像設定　■ 情報表示
  - ■ ｉモーション／ムービー設定（レジューム再生設定）

[１件削除] ☞P.358

[Dolby Mobile 設定]▶設定を選ぶ▶⊙
- [オリジナル]を選択したときは、項目設定して[i]

[Bluetooth出力] ☞P.401

[移動／コピー]
- ▶[１件移動] ☞P.358
- ▶[microSDへ１件移動] ☞P.350
- ▶[microSDへ１件コピー] ☞P.349

[チャプター一覧]▶チャプターを選ぶ▶⊙
- チャプターを選択して再生します。

[ｉモーション／ムービー設定]
- ▶[リピート再生]
  - 通常再生に戻す：同じ操作
- ▶[エフェクト設定]▶設定を選ぶ▶⊙
  - ビューアポジションの横表示で次／前のｉモーションに切り替えるときのエフェクト（効果）を設定します。
- ▶[表示サイズ切替]▶設定を選ぶ▶⊙

▶［ライトアップ］

▶［バックライト点灯時間］▶設定を選ぶ▶⊙
- 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

▶［送り速度指定］▶設定を選ぶ▶⊙
- 早送り／早戻しの速度を設定します。

▶［コマ送り幅指定］▶送り幅を選ぶ▶⊙

▶［全画面モード切替］

▶［起動時画面モード設定］▶設定を選ぶ▶⊙

▶［音声切替］▶設定を選ぶ▶⊙
- ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画の音声を切り替えます。

［Dolby Mobile 設定］について
- バーチャル5.1chサラウンドの音声で聞くときは［Virtual5.1ch（イヤホン）］に設定し、ステレオイヤホンを利用してください。

［リピート再生］について
- 再生回数に制限のあるデータは、リピート再生できません。

［表示サイズ切替］について
- 表示されるサイズが「480未満×392未満」のときに、表示サイズを［拡大］に切り替えることができます。

［コマ送り幅指定］について
- 音声のみのｉモーションなど、［細かい］に設定しても無効となり、［大まか（高速）］でコマ送りされるｉモーションがあります。

［全画面モード切替］について
- サイズによっては、全画面モードでも画面全体に表示されません。

［起動時画面モード設定］について
- 通常ポジション／ビューアポジションで縦表示のときに設定が有効です。

動画／ｉモーションを添付してｉモードメールを送信する＜ｉモーションメール＞

- ファイルの添付については☞P.140

1 **カスタムメニューで［データBOX］▶［ｉモーション／ムービー］**

2 **ｉモーションを選ぶ▶✉**
- 500Kバイトを超えるｉモーションのとき：ファイルサイズを選ぶ▶⊙
  - 先頭から約500Kバイトを切り出す：［メール用（短）］
  - 先頭から約２Mバイトを切り出す：［メール用（長）］

3 **メールを作成・送信**

動画／ｉモーションを待受画面などに設定する ＜音・映像設定＞

1 **カスタムメニューで［データBOX］▶［ｉモーション／ムービー］**

2 **ｉモーションを選ぶ▶📷▶［音・映像設定］**

3 **項目を選ぶ▶⊙**
- 待受画面に設定するとき：［待受画面］▶［はい］▶表示サイズを選ぶ▶⊙
  - 画像サイズが「QCIF：176×144」、「sQCIF：128×96」以外のときは、拡大表示できません。

- microSDカードの［移行可能コンテンツ］フォルダ内のｉモーションは待受画面や着信音などに直接設定できますが、設定されたｉモーションは、FOMA端末（本体）のデータBOXのｉモーション／ムービーの［ｉモード］フォルダに移動されます。
- microSDカードからFOMA端末（本体）にコピーしたり、赤外線通信やｉC通信、ドコモケータイdatalinkなどを使用してパソコンや他のFOMA端末から転送した動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定できません。
- 音声のみのｉモーションやASF形式のｉモーションなど、待受画面に設定できないｉモーションがあります。

ブルーレイディスクレコーダーで録画した動画をFOMA端末で再生する

ブルーレイディスクレコーダーに録画した動画をmicroSDカードに転送して、i モーションプレーヤーで再生できます。

- ブルーレイディスクレコーダーとFOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)で接続して動画を転送します。詳しい操作方法はブルーレイディスクレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- 対応機種については次のサイトをご覧ください。
  http://k-tai.sharp.co.jp/peripherals/bluray/sh-06a.html
- USBモードを[microSDモード]に設定して接続してください(☞P.354)。
- 転送した動画は、microSDカードのデータBOXのｉ モーション/ムービーの[レコーダー連携]フォルダに保存され、最大99件表示できます。
- 動画を転送すると、microSDカードに保存できるビデオの件数は少なくなります。
- 転送した動画の再生方法はｉ モーションの再生方法と同様です(☞P.331)。ただし、一部操作できないものがあります。
  - ｉ モーション再生画面の再生状態のマーク表示位置に[RECORDER]が表示されます(画像サイズのマークは表示されません)。
- 市販のBluetooth機器を利用して、転送した動画の音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.401)。

映像編集

動画を編集する

撮影した動画を編集できます。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉ モーション/ムービー]

2 動画を選ぶ▶[📷]▶[データ編集]▶[映像編集]

映像編集画面

- 早送り/早戻し:◯(1秒以上)/◯(1秒以上)
- コマ送り/コマ戻し:◯
- ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ:[1]~[9]
- 編集した動画を再生:[i]

3 動画を編集

4 [📷]▶[保存]

- 編集した動画が500Kバイトを超えるとき:ファイルサイズを選ぶ▶◉
  - 先頭から約500Kバイトを切り出す:[メール用(短)]
  - 先頭から約2Mバイトを切り出す:[メール用(長)]
  - そのまま保存するとき:[何もしない]

5 [OK]

- タイトルの編集:[タイトル編集]▶タイトルを編集▶◉
  - 全角18文字(半角36文字)まで入力できます。
- 保存先の変更:[フォルダ変更]▶フォルダを選ぶ▶[📷]
- 保存してメールに添付:[メール作成]▶メールを作成・送信

- SH-06A以外で撮影した動画は、編集できないことがあります。
- microSDカード内の動画のときは、フォルダを変更できないことがあります。

■ タッチパネル操作

ビューアポジションで映像を編集するときはタッチパネルで操作します。

- タッチパネルの主な操作については☞P.39
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
Preview	編集した動画を再生	◀II / Hold ◀◀	コマ戻し※2
Start	始点※1	II▶ / Hold ▶▶	コマ送り※2
End	終点※1		

データ管理

※1　動画を切り取るときに表示されます。
※2　ロングタッチすると、早戻し／早送りになります。

■ 映像編集画面のサブメニュー操作

[静止画キャプチャ] ● 動画の一場面を、静止画として保存します。 ● 静止画の保存については☞P.330「静止画を編集する」の操作5へ	
[映像カッター]	☞P.337
[情報表示]	☞P.358
[保存]	☞P.336
[終了]▶[はい]	
[コマ送り幅指定]▶送り幅を選ぶ▶⊙	

[静止画キャプチャ]について
- 保存した静止画はFOMA端末で撮影した静止画と同様に扱うことができます。

[コマ送り幅指定]について
- 音声のみのｉモーションなど、[細かい]に設定しても無効となり、[大まか(高速)]でコマ送りされるｉモーションがあります。
- 次の場合は、コマ送り幅が[大まか(高速)]になります。
  - ■ 映像編集画面で、画像サイズが「FWVGA：864×480」、「ワイド：720×400」、「VGA：640×480」、「WQVGA：400×240」、「hQVGA：240×176」のとき
  - ■ 編集中のデータサイズが2Mバイトを超えるとき

動画を切り取る<映像カッター>

動画の一部を切り取り、新しい動画として保存します。

メール用(短)	指定した位置から約500Kバイトまでを自動的に切り取ります。
メール用(長)	指定した位置から約2Mバイトまでを自動的に切り取ります。
部分切り出し	始点と終点を指定して切り取ります。
前部分消去	指定した始点からファイルの最後までを切り取ります。
後部分消去	ファイルの最初から指定した終点までを切り取ります。

1 映像編集画面で📷▶[映像カッター]

2 切り取り方法を選ぶ

- ◆ [メール用(短)]／[メール用(長)]／[前部分消去]▶始点を選ぶ▶🄸▶[確認]
- ◆ [部分切り出し]▶始点を選ぶ▶🄸▶終点を選ぶ▶🄸▶[確認]
- ◆ [後部分消去]▶終点を選ぶ▶🄸▶[確認]

- 約3秒未満の動画は切り取りできません。
- FOMA端末(本体)に保存されている約2Mバイトを超える動画は、部分切り出し、前部分消去、後部分消去できません。
- 約500Kバイト以下の動画はメール用(短)、メール用(長)に切り出しできません。
- 動画を保存するまでは連続して切り取りはできません。
- コマ送り幅指定を[細かい]に設定している場合、[大まか(高速)]に設定している場合よりも切り取りに時間がかかることがあります。

ワンセグ

ワンセグを録画したビデオ･静止画を再生する

データBOXのワンセグに保存されたビデオや静止画を再生できます。ここでは、ビデオプレーヤーでのビデオの再生について説明します。
- 静止画表示中の操作については☞P.325
- 通常ポジション／ビューアポジションで縦表示のときは、マルチウインドウでビデオを見ながら他の機能を利用できます(☞P.244)。同時に使用可能な機能はワンセグ視聴中と異なります(☞P.477)。
- ビデオ再生中に着信などがあったときの動作はワンセグ視聴中の動作と同様です(☞P.245)。
  - ・ビデオは一時停止になります。
- 市販のBluetooth機器を接続すると、ビデオの音声をBluetooth機器から再生できます(☞P.401)。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ワンセグ]

次ページへ続く▶▶

2 [ビデオ]フォルダ ▶ ビデオを選ぶ ▶ ⊙

- 静止画を表示するとき：[イメージ]フォルダ ▶ 静止画を選ぶ ▶ ⊙

ビデオ再生画面

- 前回再生時に途中で終了したビデオは、停止した位置から再生されます。
- ビデオ再生中は、テレビリンク一覧画面を表示できません。
- 他の機器などで編集（分割）されたビデオを再生すると、映像や音声が途切れることがあります。

ビデオ再生中のデータ放送表示について

- ビデオ再生時は、再生中のビデオを録画した放送局のデータ放送が表示されます。再生を終了すると一時停止になり、データ放送の閲覧を継続できます。ただし、再生終了時にデータ放送が表示されていない場合は、再生が停止します。
- ビデオ一時停止中やビデオ再生の速度が通常もしくは[▶▶♪]のとき以外は、データ放送が表示されません。ただし、データ放送サイトは表示されます。
- 早送り（[▶▶♪]のとき以外）や早戻し、再生開始位置のジャンプをすると、通常再生に戻ったときにデータ放送はトップページが表示されます。

■ ビデオ再生画面のボタン操作

操作	ボタン
早送り （▶▶♪、▶▶×1、▶▶×2、▶▶×3、▶▶×4）※1	◯ ● ▶▶♪：通常の約1.3倍で再生 ● [▶▶×2]で早送り：◯（1秒以上）
早戻し （◀◀×1、◀◀×2、◀◀×3、◀◀×4）※1	◯ ● [◀◀×2]で早戻し：◯（1秒以上）
一時停止／再生	[i]
停止	[📖] ● 先頭から再生：[i]
ボタンに割り振られた再生開始位置にジャンプ※2	[1]：先頭 [2]～[9]：総再生時間の約1/9ずつ先の位置
約30秒先の位置にスキップ	[#]
約10秒前の位置にバック	[*]
音量調節（音量 0 ～25）※3	◯
ミュート／解除	[✓]
字幕設定ON／OFF	[✓]（1秒以上）
映像／データ放送モードの切替	[✉]
表示モード切替※4	[📖]（1秒以上）
ビデオプレーヤー終了	[CLR]／[⌒] ▶ [はい]

※1 ボタンを押すたびに、早送り／早戻しの速度が上がります。
※2 録画時間が短いときは、ジャンプしないことがあります。
※3 ボタンを押し続けると、連続して音量を調節できます。
※4 表示モード切替（縦）が[データ放送]→[映像＋データ放送]の順に切り替わります。

■ タッチパネル操作

ビューアポジションでビデオ中はタッチパネルで操作します。

- タッチパネルの主な操作については☞P.39
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
◀◀	早戻し※1	Volume ∨	音量ダウン※2
❚❚	一時停止	Stop	停止
▶	再生	10Sec Back	約10秒前の位置にバック
▶▶	早送り※1	30Sec Skip	約30秒先の位置にスキップ
Volume ∧	音量アップ※2		

※1 ロングタッチすると[◀◀×2]／[▶▶×2]に速度が上がり、早戻し／早送り中にタッチすると段階的に速度が上がります。
※2 ロングタッチすると、連続して音量を調節できます。

データ管理

● 次のタッチ操作ができます。

音量調節	上下にすばやくスライド
早戻し／早送り※	左右にすばやくスライド

※ 停止中や一時停止中は操作できません。早戻し／早送り中に操作すると速度が上がります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダセキュリティ] ☞P.357

[表示切替] ☞P.325

[本体⇔microSD切替]

■ 画像一覧画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、マイピクチャの画像一覧画面のサブメニュー操作(☞P.326)を参照してください。

■ データ編集(タイトル編集)　■ 削除　■ 情報表示
■ 静止画設定(ソート、音量設定)

[スライドショー]

● フォルダ内の画像を連続して表示します。

▶[スライドショー開始]

▶[再生間隔]▶速度を選ぶ▶⦿

▶[効果設定]▶効果を選ぶ▶⦿

[静止画設定]

▶[表示切替] ☞P.325

▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⦿

● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ ビデオ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集] ☞P.357

[削除] ☞P.358

[情報表示] ☞P.358

[microSDへコピー] ☞P.349

[ワンセグデータ設定]

▶[表示切替] ☞P.325

▶[ソート] ☞P.358

[本体⇔microSD切替]

■ 画像表示画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、マイピクチャの画像表示画面のサブメニュー操作(☞P.327)を参照してください。

■ 1件削除　■ ズーム　■ 回転　■ 静止画設定

[データ編集]

▶[タイトル編集] ☞P.357

[ピクチャテーブル] ☞P.328

[情報表示] ☞P.358

■ ビデオ再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、ワンセグ視聴画面のサブメニュー操作(☞P.241)を参照してください。

■ 操作切替　■ ミュート　■ 表示設定　■ 字幕設定
■ 画質設定　■ Dolby Mobile 設定　■ Bluetooth出力　■ データ放送
■ 操作ガイド　■ ワンセグ設定(主／副音声切替、音声切替)

[中速早送り／早戻し]▶種類を選ぶ▶⦿

[再生開始位置指定]▶再生開始位置(先頭から何時間何分後)を入力▶⦿

[画面OFF(音声のみ)]

[情報表示] ☞P.358

[再生開始位置指定]について

● ビューアポジションの再生開始位置指定画面では、左右にすばやくスライドしてカーソルを移動し、数字をタッチしてください。[OK]をタッチすると再生を開始します。

キャラ電プレーヤー

キャラ電

キャラ電は、テレビ電話利用時にカメラ映像の代わりに送信できるキャラクタです。キャラクタには、さまざまなアクションをさせることができます。

● キャラ電のダウンロードについては☞P.185

キャラ電を再生する<キャラ電プレーヤー>

データBOXのキャラ電に保存されたキャラ電を再生し、アクションを実行できます。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[キャラ電]

2 キャラ電を選ぶ▶⊙

キャラ電再生画面

マークの意味

☻	全体アクションモード
☻	パーツアクションモード

● キャラ電操作中は、ボタンを押しても音は鳴りません。
● キャラ電によっては、自動でアクションするものや、アクションをしないものがあります。

■ キャラ電再生画面のボタン操作

キャラ電登録	⊙
アクションモードの切替	[i]
等倍／拡大の切替	[📖]
アクションリストの表示	[✉] ● 実行：アクションを選ぶ▶⊙ ● 詳細の表示：アクションを選ぶ▶[i]
アクション操作※	[1]～[9]、[#]
アクション中止	[0]

※ アクションリストの番号に対応したアクションを実行します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]
▶[フォルダ新規作成] ☞P.356
▶[フォルダ名編集] ☞P.357
▶[フォルダセキュリティ] ☞P.357

[削除] ☞P.357

[キャラ電表示設定]
▶[表示切替] ☞P.325
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⊙
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ キャラ電一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集] ☞P.357

[削除] ☞P.358

[キャラ電登録]
▶[テレビ電話代替画像]
▶[電話帳代替画像]▶保存方法を選ぶ▶⊙▶電話帳に登録

[情報表示] ☞P.358

[フォルダ間移動] ☞P.358

[キャラ電発信]
▶[電話帳検索]▶相手を選ぶ▶[i]
▶[直接入力]▶電話番号を入力▶[i]

[キャラ電表示設定]
▶[表示切替] ☞P.325
▶[ソート] ☞P.358
▶[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⊙
● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ キャラ電再生画面のサブメニュー操作

● 次の機能については、キャラ電一覧画面のサブメニュー操作（☞P.340）を参照してください。
■ タイトル編集　■ キャラ電登録　■ 情報表示　■ キャラ電発信

[1件削除]	☞P.358
[キャラ電切替]	☞P.79
[アクション切替]	☞P.79
[アクション一覧]	☞P.79
[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶● ● 再生中のバックライトの点灯時間を設定します。	

マチキャラ

マチキャラを表示する

● マチキャラの設定については☞P.109

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マチキャラ]

2 マチキャラを選ぶ▶●

- 全画面表示：[i]

● ダウンロード途中で保存したマチキャラを選ぶと、残りのデータをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選ぶとダウンロードできます。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]	
▶[フォルダ新規作成]	☞P.356
▶[フォルダ名編集]	☞P.357
▶[フォルダセキュリティ]	☞P.357
[削除]	☞P.357
[表示切替]	☞P.325
[microSDへ移動]	☞P.350
[本体⇔microSD切替]	

■ マチキャラ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集]	☞P.357
[削除]	☞P.358
[マチキャラ設定]	☞P.341
[情報表示]	☞P.358
[移動]	
▶[フォルダ間移動]	☞P.358
▶[microSDへ移動]	☞P.350
[マチキャラ表示設定]	
▶[表示切替]	☞P.325
▶[ソート]	☞P.358
[一括情報リセット]▶[はい] ● マチキャラの設定経過時間や積算通話時間、受信／送信メール数などの情報をリセットします。	
[本体⇔microSD切替]	

マチキャラを設定する<マチキャラ設定>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[マチキャラ]

2 マチキャラを選ぶ▶[カメラ]▶[マチキャラ設定]

- マチキャラを選んで[本]を押しても操作できます。

3 設定を選ぶ▶●

● microSDカードの[移行可能コンテンツ]フォルダ内のマチキャラは、直接設定することはできません。FOMA端末（本体）に移動してから設定してください。
● 解除するときは、設定しているマチキャラを選んで操作してください。

メロディプレーヤー

メロディを再生する

データBOXのメロディに保存されたメロディを再生できます。

- 着信バイブレータ(☞P.99)を[メロディ連動]に設定すると、メロディ再生時にもバイブレータが動作します。

1 カスタムメニューで[データBOX] ▶ [メロディ]

2 メロディを選ぶ ▶ ⦿

- 停止:⦿

メロディ再生画面

- メロディによっては、再生できないものがあります。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]	
▶ [フォルダ新規作成]	☞P.356
▶ [フォルダ名編集]	☞P.357
▶ [フォルダセキュリティ]	☞P.357
[削除]	☞P.357
[連続再生]	☞P.343
[microSDへ移動]	☞P.350
[microSDへ全件コピー]	☞P.348
[データ送信]	
▶ [赤外線送信]	☞P.363
[メロディ設定]	
▶ [表示切替]	☞P.325
▶ [音量設定] ▶ ◎で音量を調節 ▶ ⦿	
[本体⇔microSD切替]	

■ メロディ一覧画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、フォルダ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.342)を参照してください。
  - ■ データ送信(赤外線送信)
  - ■ メロディ設定(表示切替、音量設定)
  - ■ 本体⇔microSD切替

[データ編集]	
▶ [タイトル編集]	☞P.357
▶ [ファイル名編集]	☞P.358
[削除]	☞P.358
[音設定]	☞P.343
[情報表示]	☞P.358
[移動/コピー]	
▶ [フォルダ間移動]	☞P.358
▶ [microSDへ移動]	☞P.350
▶ [microSDへコピー]	☞P.349
[データ送信]	
▶ [iC送信]	☞P.365
[メロディ設定]	
▶ [開始位置選択] ▶ 再生部分を選ぶ ▶ ⦿	
▶ [ソート]	☞P.358

[開始位置選択]について

- ポイント再生で再生される部分はあらかじめ指定されています。また、[ポイント再生]に設定しても、開始位置が指定されていないメロディのときはフルコーラス再生されます。

■ メロディ再生画面のサブメニュー操作

- 次の機能については、メロディ一覧画面のサブメニュー操作(☞P.342)を参照してください。
  - ■ データ編集
  - ■ 音設定
  - ■ 情報表示

[1件削除]	☞P.358

データ管理

[移動／コピー]
- ▶[1件移動] ☞P.358
- ▶[microSDへ1件移動] ☞P.350
- ▶[microSDへ1件コピー] ☞P.349

[データ送信]
- ▶[赤外線送信] ☞P.363
- ▶[iC送信] ☞P.365

[メロディ設定]
- ▶[イコライザ設定]▶種類を選ぶ▶⊙
- ▶[ステレオ効果設定] ☞P.343

3Dサウンド／サラウンドを設定する <ステレオ効果設定>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディを選ぶ▶⊙

3 📷▶[メロディ設定]▶[ステレオ効果設定]

- ⓘを押しても操作できます。

4 効果を選ぶ▶⊙

- 効果については☞P.98

メロディを連続して再生する<連続再生>

指定したフォルダ内のメロディを連続して再生できます。

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 フォルダを選ぶ▶📷▶[連続再生]

- 次のメロディを再生：◯
- メロディの先頭に戻る：◯
- 前のメロディを再生：メロディの先頭で◯

メロディを添付してiモードメールを送信する

- ファイルの添付については☞P.140

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディを選ぶ▶✉

3 メールを作成・送信

- 相手の機種がFOMA SH900iより前に発売された機種のときは、送ったメロディを正しく再生できないことがあります。
- 次のメロディには、一部iモードメールに添付できないものがあります。
  - ■ ファイル形式がMFiのメロディ
  - ■ メールに添付されたメロディ
  - ■ iモードでダウンロードしたメロディ
  - ■ iアプリから取得したファイル形式がSMFのメロディで、ファイル制限ありのもの

メロディを着信音などに設定する<音設定>

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[メロディ]

2 メロディを選ぶ▶📷▶[音設定]

- メロディを選んで📖を押しても操作できます。

3 項目を選ぶ▶⊙

microSDカードについて

FOMA端末（本体）内の電話帳やメール、ブックマークなどのデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータをFOMA端末（本体）に取り込むことができます。
microSDカードをご利用になるには、別途microSDカードが必要となります。
microSDカードおよびmicroSDカードアダプタをお持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。

次ページへ続く▶▶

- SH-06Aでは市販の２Gバイトまでのmicro SDカード、16GバイトまでのmicroSDHCカードに対応しています（2009年８月現在）。microSDカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については次のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - ■ ｉモードから［SH-MODE］（2009年８月現在）
    ［ｉMenu］▶［メニューリスト］▶［ケータイ電話メーカー］▶［SH-MODE］
  - ■ パソコンから
    http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-06a/

  サイト接続用QRコード

  なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の電源を入れたままの状態でmicroSDカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- 利用できるファイルのサイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- ワンセグの録画サイズは、１ファイル２Gバイトまでです。
- サイトから取得した、FOMA端末外への出力が禁止されている画像、ｉモーション、メロディ、着うたフル®、きせかえツール、電子書籍／電子辞書／電子コミック、マチキャラをmicroSDカードに移動できます。ただし、IP（情報サービス提供者）が許可していないときは保存できません。
- FOMA端末にmicroSDカードを挿入した直後（FOMA端末で使用するための情報を書き込み中）や、microSDカード内のデータ編集中に、microSDカードを取り外したり、電源を切らないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- フォーマット（初期化）されていないmicroSDカードを使うときは、FOMA端末でフォーマットする必要があります（☞P.354）。パソコンなどでフォーマットしたmicroSDカードは、FOMA端末では正常に使用できないことがあります。
- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できないことがあります。また、FOMA端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。
- 他のFOMA端末やパソコンなどで使用していたmicroSDカードを挿入したときは、使用できないことがあります。不要なデータを削除してから、再度挿入してください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップをとるなどして別に保管してくださるようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

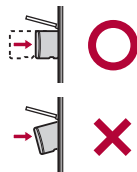
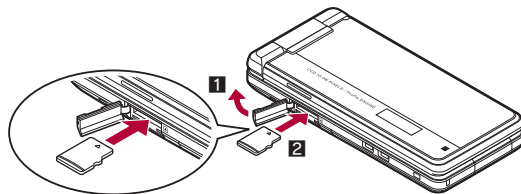
microSDカードの取り付け／取り外し

microSDカードの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

■ microSDカードを挿入する

1 microSDカードスロットカバーを開いて引き出す（1）

2 microSDカードの金属端子面を下に向けてゆっくりと挿入する（2）

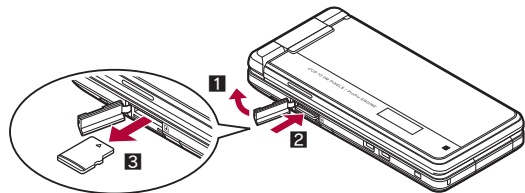
- microSDカードが傾いた状態や、表裏が逆の状態で無理に押し込まないでください。microSDカードスロットが破損することがあります。
- 「カチッ」と音がするまで、ゆっくり指で押し込んでください。

3 microSDカードスロットカバーを閉じる

■ microSDカードを取り外す

1 microSDカードスロットカバーを開いて引き出す(1)

2 microSDカードを軽く押し込む(2)

- 「カチッ」と音がするまで押し込んでください。microSDカードが手前に飛び出します。無理に引き抜くと、FOMA端末やmicroSDカードを破損させるおそれがあります。

3 microSDカードを取り外す(3)

- ゆっくりとまっすぐに取り外してください。取り外したあと、microSDカードスロットカバーを閉じます。

- microSDカードスロットを顔の方に向けて、挿入したり、取り外したりしないでください。急に指を離すとmicroSDカードが飛び出し危険です。
- 電源を入れた状態で、microSDカードを取り付けたり、取り外したときには、警告音が鳴ります。

microSDカードのフォルダ構成

microSDカード内のフォルダ構成と、各フォルダに格納されるデータのファイル名などは次のとおりです。

- パソコンなどからmicroSDカードにデータを書き込むときも、次のフォルダ構成、ファイル名にする必要があります。
- フォルダ名とファイル名の規則は次のとおりです。
  - ■ aaaaaa：2バイト文字を含む64文字以下
    - ・¥(円記号)、/(スラッシュ)、:(コロン)、*(アスタリスク)、?(クエスチョンマーク)、"(ツーダッシュ)、<(中括弧)、>(中括弧)、|(垂直バー)を除く
  - ■ bbb：100～999の3桁の半角数字(000～099に変更しても認識されません)
  - ■ cccc：0001～9999の4桁の半角数字
  - ■ ddddd：00001～65535の5桁の半角数字
  - ■ eee：001～FFFの3文字の半角英数字(16進数)
  - ■ fff：001～999の3桁の半角数字
  - ■ gggggg：2バイト文字を含め60バイト以下(拡張子を除く)
  - ■ hhh：3文字以内の半角英数字
  - ■ jjjjjjj：2バイト文字を含め8バイト以下(拡張子を除く)
  - ■ kkkkkk：2バイト文字を含め228文字以下(拡張子を除く)
  - ■ xxyyzznn：半角数字で、xxは年、yyは月、zzは日、nnは00～99

```
DCIM .......................... 静止画フォルダ
├bbbSHARP...................... 撮影静止画用フォルダ
│                               DVC0cccc.JPG／GIF
└bbbSH_UF ..................... ユーザフォルダ
                                DVC0cccc.JPG／GIF
SD_PIM ........................ PIMデータ用フォルダ(電話帳、スケジュール、メール、テキストメモ、ブックマーク)
                                PIMddddd.VCF／VCS／VMG／VNT／VBM
SD_VIDEO....................... 動画フォルダ
├PRLeee........................ 撮影動画用フォルダ
│                               MOLeee.MP4／ASF／3GP／SDV
├MGR_INFO...................... ビデオ管理情報用フォルダ
└PRGeee........................ ビデオ、ブルーレイディスクレコーダーから転送した動画用フォルダ
                                PRGeee.PGI
                                MOVeee.TOD／SB1／S41／MAI／MOI
PRIVATE
└DOCOMO
  └DOCUMENT
    └PUDfff.................... PDF対応ビューアフォルダ
                                gggggg.PDF／$DF／DDF
                                PDFDCfff.PDF／$DF／DDF
```


次ページへ続く

- MMFILE …… ボイスメモ、i モーション（AAC形式の音楽データを含む※1）、WMAファイル用フォルダ
  - MUDfff …… MMFcccc.MP4／ASF／3GP／SDV／M4A
- RINGER …… メロディファイル用フォルダ
  - RUDfff …… RINGcccc.MLD／SMF／MID
- STILL …… その他画像ファイル用フォルダ
  - SUDfff …… STILcccc.JPG／GIF／SWF
- TORUCA …… トルカフォルダ
  - TRCfff …… TORUCfff.TRC
- LCSCLIENT …… 現在地通知先ファイル用フォルダ
  - LSCfff …… LSCDCfff.LSC
- DECOIMG …… デコメ®絵文字用フォルダ
  - DUDfff …… DIMGcccc.JPG／GIF
- OTHER …… その他ファイル用フォルダ
  - OUDfff …… OTHERfff.hhh
jjjjjjjj.hhh
- DECO_A_T …… デコメアニメ®テンプレート用フォルダ
DEATcccc.VGT
- BACKUP …… バックアップ用フォルダ
  - SD_PIM
    - ADDRESS …… ADDRESS.VCF
    - SCHEDULE …… SCHEDULE.VCS
    - MAIL
      - INBOX …… INBOX.VMG
      - OUTBOX …… OUTBOX.VMG
      - SENTBOX …… SENTBOX.VMG
    - NOTE …… NOTE.VNT
    - BOOKMARK …… BOOKMARK.VBM
  - SETTING …… SETTING.VNT
- BOOK …… マンガ・ブックリーダーフォルダ
aaaaaa.ZBF／ZBK／TXT／TEXT
  - aaaaaa …… ユーザフォルダ
aaaaaa.ZBF／ZBK／TXT／TEXT※2
- TABLE …… 管理情報フォルダ※3
- SHARP
  - DOCUMENT …… ドキュメントビューアフォルダ
aaaaaa.PPT／TXT／TEXT／DOC／XLS／JPEG／JPG／BMP／PNG／GIF
  - IMPORT …… インポートフォルダ
kkkkkk.VCF／VCS／VMG／VNT／MLD／SMF／MID／JPG／GIF／SWF／MP4／ASF※4／3GP／M4A／WMV／WMA／ZBF／ZBK／TXT／TEXT
gggggg.PDF
  - MOBILE
    - USERDIC …… ユーザ辞書データ用フォルダ
xxyyzznn.SUJ
UserDic1.SUJ～UserDic10.SUJ※5

- SD_BIND
  - SVC00001～SVC00004※6※7

※1　格納できるデータの種類については☞P.331

※2　ユーザフォルダ名とファイル名（拡張子を除く）合わせて228バイト以下

※3　[TABLE]フォルダの下には[DCIM]、[MMFILE]、[RINGER]、[LCSCLIENT]、[STILL]、[SD_VIDEO]、[DOCUMENT]、[TORUCA]、[DECOIMG]、[OTHER]、[DECO_A_T]それぞれについて、付加情報を格納するフォルダがあります。

※4　ASFのファイル形式については、i モーションとムービーの２種類があります。
- ■ i モーションのファイル形式については☞P.331
- ■ ムービーのファイル形式については☞P.196

※5　各ダウンロード辞書ごとにダウンロード辞書データが作成されます。

※6　移行可能コンテンツ、i アプリデータ、着うたフル®、電子コミックをmicroSDカードに保存した際、[SVC00001]から順にフォルダが作成されます。

※7　次の場合は、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを参照できなくなることがあります。そのときは、microSDカードをSH-06Aでフォーマット（☞P.354）することをおすすめします。なお、microSDカードをフォーマットすると、[移行可能コンテンツ]フォルダ内のデータを含むすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

■ [移行可能コンテンツ]フォルダ内([SD_BIND]フォルダ内)のデータをパソコンで削除・移動・編集したとき
■ データを移動・削除・保存中にmicroSDカードや電池パックを抜いたりしたとき

● パソコンでmicroSDカードにデータを保存しようとしたときに該当するフォルダがないときは、フォルダ構成に従ってフォルダを作成してからデータを保存してください。
インポートフォルダについては、microSDカードをFOMA端末に挿入するか、FOMA端末でフォーマットすると自動的に作成されます。
● GIFアニメーションファイルは[STILL]フォルダに入り、それ以外のGIFファイル(デコメ®絵文字を除く)は[DCIM]フォルダに入ります。
● Flash画像は[STILL]フォルダに入ります。
● パソコンでフォルダ名の変更や削除をすると、FOMA端末でmicroSDカードのデータを正しく表示できなくなります。
● FOMA SH901iSより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダにPDFデータを保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。
● FOMA SH902i以前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥VOICEフォルダに音のみのｉモーション(AAC形式の音楽データを含む)を保存しているときは、¥PRIVATE¥DOCOMO¥MMFILEフォルダに移動する必要があります。移動してからmicroSDカードの管理情報を更新してください。
● SH-01Aより前に発売された機種をご利用のお客様で、microSDカードの¥BOOKフォルダに電子書籍などを保存しているときは、マンガ・ブックリーダーの表示フォルダ切替で[マンガ・ブックリーダー２]を選択すると表示できます。

■ microSDカードの保存件数

● 保存するデータの大きさや、microSDカードの容量によっては、件数が少なくなることがあります。

機　能	件　数
電話帳、スケジュール、テキストメモ、ブックマーク、ｉモードメール／SMS／エリアメール	合わせて最大65535件
静止画	999フォルダ※／１フォルダ最大1000件
ｉモーション	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
メロディ	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
PDF	999フォルダ／１フォルダ最大999件
きせかえツール	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
マチキャラ	999フォルダ／１フォルダ最大1000件
トルカ	999フォルダ／１フォルダ最大999件
現在地通知先	999フォルダ／１フォルダ最大999件
デコメアニメ®テンプレート	最大400件

※ カメラフォルダ(静止画)の最大作成可能件数は900件です。

● ワンセグの保存件数については☞P.246
● ミュージックプレーヤーの保存件数については☞P.260
● マンガ・ブックリーダーの保存件数については☞P.370

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータをコピーする

● コピーできるのは次のデータです。
■ 電話帳　■ スケジュール　■ テキストメモ
■ ブックマーク　■ ｉモードメール／SMS／エリアメール
■ 画像　■ ｉモーション　■ メロディ
■ PDF　■ トルカ
■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック　■ 現在地通知先
■ デコメアニメ®テンプレート
■ ビデオ(FOMA端末→microSDカードのみ)

● microSDカードにデータをコピーすると、管理情報もmicroSDカードに書き込まれます。

- ファイル制限のあるデータはmicroSDカードにコピーできません。
- データのサイズやmicroSDカードのメモリ使用状況によっては、microSDカードにコピーできないことがあります。
- メロディは100Kバイト、Flash画像は500Kバイト、JPEG画像・GIF画像は５Mバイト、PDFデータは２Mバイト、ｉモーションは10MバイトまでFOMA端末（本体）にコピーできます。
- microSDカードにバックアップ（☞P.351）されたデータの場合、詳細画面を表示させると、そのデータに限りFOMA端末（本体）へコピーすることができます。

電話帳について

- microSDカードにコピーすると、名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 次の情報はmicroSDカードにコピーされません。
  - メモリ番号
  - グループ設定
  - シークレット設定
  - シークレットコード
  - 着信音設定
  - 着信ランプ設定
  - 代替画像設定
  - 電話帳2in1設定
- 名前が未登録のデータがFOMA端末（本体）にコピーされたときは［No Name］と表示されます。

スケジュールについて

- 次の情報はmicroSDカードにコピーされません。
  - アラーム時刻以外のアラーム情報
  - 画像設定
  - 連絡先
  - シークレット設定
  - 視聴予約、録画予約
  - 祝日設定
  - 誕生日データ
- 終了日時が入力されていないデータをmicroSDカードにコピーすると、終了日時に開始日時が設定されます。
- FOMA端末（本体）にコピーする場合、同じデータを上書きするかどうかの確認画面が表示されます。［上書き］／［追加］を選択します。

ブックマークについて

- フォルダ情報はmicroSDカードにコピーされません。
- FOMA端末（本体）に選択コピー／全件コピーを行ったときは、FOMA端末（本体）のブックマークが最大件数まで保存されると、それ以降のブックマークはコピーされません。

メールについて

- １件あたり最大100Kバイトを超えるメールは、添付ファイルが削除されてmicroSDカードにコピーされます。
- フォルダ情報はmicroSDカードにコピーされません。
- microSDカードにコピーしたメールは保護設定できません。

画像について

- JPEG画像をmicroSDカードにコピーすると、画像のファイルサイズが変わることがあります。このとき、microSDカード側で表示されるサイズが実際のファイルサイズになります。
- フレーム画像はmicroSDカードにコピーされません。

PDFについて

- PDFデータは２MバイトまでmicroSDカードにコピーできます。
- ダウンロードに失敗したPDFデータはmicroSDカードにコピーできないことがあります。

トルカについて

- microSDカードにコピーする場合、ファイル制限のある画像を含むトルカは詳細を除いてコピーする旨のメッセージが表示されることがあります。その場合は、［確認］を選択します。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- ビューアポジションで横表示のときはコピーできません。縦表示に切り替えてからコピーしてください。

ビデオについて

- ダビング10に対応している番組のビデオは９回目までmicroSDカードにコピーできます。10回目は移動されます。ダビング10に対応していない場合はコピーされず、移動されます。コピーできない場合、ビデオは移動されFOMA端末から削除される旨のメッセージが表示されます。［はい］を選択すると移動します。

フォルダ一覧画面でデータをコピーする

<microSDへ全件コピー／本体へ全件コピー>

例：ｉモーションのとき

1 **カスタムメニューで［データBOX］▶［ｉモーション／ムービー］（▶［→microSD］）※**

※ 保存場所がmicroSDのとき

2 📷 ▶[microSDへ全件コピー]／[本体へ全件コピー]▶端末暗証番号を入力▶⊙

3 コピー先フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]

データ一覧画面でデータをコピーする

<microSDへコピー／本体へコピー>

例：ｉモーションのとき

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー](▶[→microSD])※

※ 保存場所がmicroSDのとき

2 ｉモーションを選ぶ▶📷▶[移動／コピー]▶[microSDへコピー]／[本体へコピー]

3 コピー方法を選ぶ

- ◆ [1件コピー]▶コピー先フォルダを選ぶ▶📷
- ◆ [選択コピー]▶ｉモーションを選ぶ▶⊙▶📷▶コピー先フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]
- ◆ [フォルダ内全件コピー]▶端末暗証番号を入力▶⊙▶コピー先フォルダを選ぶ▶📷▶[はい]

内容表示画面でデータをコピーする

<microSDへ1件コピー／本体へ1件コピー>

例：ｉモーションのとき

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー](▶[→microSD])※

※ 保存場所がmicroSDのとき

2 ｉモーションを選ぶ▶⊙▶📷▶[移動／コピー]▶[microSDへ1件コピー]／[本体へ1件コピー]

3 コピー先フォルダを選ぶ▶📷

コンテンツ移行対応

FOMA端末とmicroSDカードの間でデータを移動する

サイトから取得したFOMA端末外への出力が禁止されているデータを、FOMA端末（本体）とmicroSDカードの間で移動できます。また、録画したビデオをmicroSDカードに移動することができます。

- 移動できるのは次のデータです。
  - ■ 画像　■ ｉモーション　■ メロディ
  - ■ 着うたフル®　■ きせかえツール　■ マチキャラ
  - ■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック
  - ■ ビデオ（FOMA端末→microSDカードのみ）※

  ※ データによっては、microSDカードに9回目までコピーされ、10回目には移動されます。コピー方法については☞P.349
- 移動の可否やビデオの残りのコピー回数についてはデータの[情報表示]から確認できます（☞P.358）。
- FOMA端末で撮影した画像など、著作権のないデータは移動できません。ただし、コピーすることはできます。

- microSDカードに移動したデータをFOMA端末（本体）へ移動できるのは、次の場合です。
  - ■ データの詳細情報でFOMA端末（本体）への移動が[可]の場合に、データ取得時と同じFOMAカードを挿入しているとき
  - ■ データの詳細情報でFOMA端末（本体）への移動が[可（同一機種間）]の場合に、データ取得時と同じ機種に同じFOMAカードを挿入しているとき

着うたフル®について

- ファイル種別から[ｉモード（本体）]または[ｉモード（microSD）]を選択しているときのみ、選択移動と全件移動できます。
- プレイリストに登録している着うたフル®を移動すると、プレイリストから再生できなくなります。

電子書籍／電子辞書／電子コミックについて

- ビューアポジションで横表示のときは移動できません。縦表示に切り替えてから移動してください。

フォルダ一覧画面でデータを移動する
<microSDへ移動／本体へ移動>

例：ｉモーションのとき

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー]（▶[→microSD]▶[移行可能コンテンツ]フォルダを選ぶ）※

※ 保存場所がmicroSDのとき

2 [📷]▶[microSDへ移動]／[本体へ移動]

3 [全件移動]▶端末暗証番号を入力▶⊙▶[はい]

- 移動先フォルダを指定するとき：[移動先選択]▶移動先フォルダを選ぶ▶[📷]

データ一覧画面でデータを移動する
<microSDへ移動／本体へ移動>

例：ｉモーションのとき

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー]（▶[→microSD]▶[移行可能コンテンツ]フォルダ）※

※ 保存場所がmicroSDのとき

2 ｉモーションを選ぶ▶[📷]▶[移動／コピー]▶[microSDへ移動]／[本体へ移動]

3 移動方法を選ぶ

◆ [1件移動]
◆ [選択移動]▶ｉモーションを選ぶ▶⊙▶[📷]▶[はい]
◆ [フォルダ内全件移動]▶端末暗証番号を入力▶⊙▶[はい]

- 移動先フォルダを指定するとき：[移動先選択]▶移動先フォルダを選ぶ▶[📷]

内容表示画面でデータを移動する
<microSDへ１件移動／本体へ１件移動>

例：ｉモーションのとき

1 カスタムメニューで[データBOX]▶[ｉモーション／ムービー]（▶[→microSD]▶[移行可能コンテンツ]フォルダ）※

※ 保存場所がmicroSDのとき

2 ｉモーションを選ぶ▶⊙▶[📷]▶[移動／コピー]▶[microSDへ１件移動]／[本体へ１件移動]

一括バックアップ／復元

FOMA端末（本体）のデータを一括してバックアップ／復元する

各機能のデータと設定情報が、一括してバックアップ／復元されます。

- 次のデータがバックアップ／復元されます。
  - ■ 電話帳　■ メール　■ スケジュール
  - ■ ブックマーク　■ テキストメモ
- 次の設定がバックアップ／復元されます。
  - ■ メールの振分け条件設定
  - ■ メール表示画面の文字サイズ設定
  - ■ 署名登録
  - ■ メール選択受信設定
  - ■ 受信・自動送信表示
  - ■ メッセージ自動表示設定
  - ■ 添付ファイル受信設定
  - ■ メロディ自動再生
  - ■ エリアメール設定
  - ■ ｉモード問い合わせ設定
  - ■ 送受信履歴
  - ■ 電話帳登録外着信拒否
  - ■ 電話帳指定着信許可
  - ■ 電話帳指定着信拒否
  - ■ 非通知理由別着信拒否
  - ■ 伝言メモ設定
  - ■ 伝言応答時間
  - ■ リダイヤル／着信履歴
  - ■ ユーザ辞書
  - ■ 学習された文字変換候補
  - ■ アラーム

FOMA端末→microSDカードに一括してバックアップする<microSDへバックアップ>

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[一括バックアップ/復元]▶[microSDへバックアップ]**

2 **端末暗証番号を入力▶◉▶[はい]**

- バックアップデータは前回のデータに上書き保存されます。
- バックアップの対象となるデータがFOMA端末に保存されていない場合は、バックアップを実行できません。
- バックアップを中止した場合は復元できません。再度バックアップをやり直してください。
- microSDカードの空き容量が不足している場合は、一部のデータがバックアップされません。不要なデータを削除して空き容量を増やすか、空き容量が十分あるmicroSDカードを挿入してからバックアップをやり直してください。
- バックアップ中は他の機能を起動できません。
- バックアップには時間がかかることがあります。
- メールやブックマークは、フォルダ情報もバックアップされます。

電話帳について

- 所有者情報が電話帳としてバックアップされます。
- 名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 電話帳2in1設定もバックアップされます。
- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ シークレットコード
  - ■ 着信音設定
  - ■ 着信ランプ設定
  - ■ 代替画像設定
  - ■ FOMAカード内の電話帳
  - ■ グループ名以外のグループ設定
  - ■ 再配布不可の画像ファイル

スケジュールについて

- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ アラーム時刻以外のアラーム情報
  - ■ 画像設定
  - ■ 連絡先
  - ■ 視聴予約、録画予約
  - ■ 祝日設定
  - ■ 誕生日データ
- 終了日時が入力されていないデータをバックアップすると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて

- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ ｉアプリTo
  - ■ 再配布不可の添付ファイル
  - ■ FOMAカード内のSMS
  - ■ Bアドレス設定の署名
  - ■ シークレットメール設定
  - ■ フォルダシークレット

microSDカード→FOMA端末に一括バックアップデータを読み込む<本体へ復元>

- 復元すると、電話帳、メール、スケジュール、ブックマーク、テキストメモのすべてのデータと設定情報が、バックアップデータにより上書きされます。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[一括バックアップ/復元]▶[本体へ復元]**

2 **端末暗証番号を入力▶◉▶[はい]**

- 復元を実行すると、セルフモード(☞P.121)になります。セルフモード中は電話着信やメール受信などが利用できません。

- バックアップデータがmicroSDカードに保存されていない場合は、復元を実行できません。
- 本FOMA端末以外で復元すると、バックアップされたデータや設定情報が復元されない場合があります。
- 復元を中止した場合は、一部のデータが復元されません。再度復元をやり直してください。
- FOMA端末のメモリの空き容量が不足している場合は、一部のデータが復元されません。
- データが存在しない状態でバックアップされた機能は、復元するとバックアップ後に保存したデータがすべて削除されます。
- 復元中は他の機能を起動できません。

電話帳について

- ピクチャーコールに設定した画像も復元されます。ただし、ｉモーションは、復元されません。

メールについて

- メールは、転送に時間がかかることがあります。

設定情報について

- 設定情報を復元した場合は設定情報の結果が表示されます。

一括バックアップデータを確認する <バックアップデータ参照>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[一括バックアップ／復元]▶[バックアップデータ参照]

2 端末暗証番号を入力▶⊙

3 データ種別を選ぶ▶⊙

- 情報の確認：データ種別を選ぶ▶📷

4 バックアップデータを選ぶ▶⊙

- バックアップデータ詳細画面のサブメニューから、FOMA端末（本体）へコピーなどの操作ができます。
- バックアップされた設定情報の確認や、FOMA端末（本体）へのコピーはできません。

ブックマークについて

- iモードのブックマークには[ ]、フルブラウザのブックマークには[ ]が表示されます。

一括バックアップデータを削除する<削除>

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[一括バックアップ／復元]▶[バックアップデータ参照]

2 端末暗証番号を入力▶⊙

3 削除方法を選ぶ

- データ種別ごとに削除：データ種別を選ぶ▶ⓘ▶[はい]
- 全件削除：✉▶[はい]

個別バックアップ／復元

FOMA端末（本体）のデータをデータ種別ごとにバックアップ／復元する

FOMA端末→microSDカードにバックアップする

次の各機能のデータと辞書データを、microSDカードにバックアップデータとして保存できます。

■ 電話帳　■ メール　■ スケジュール
■ ブックマーク　■ テキストメモ

- バックアップデータには、バックアップした日付・時刻を含む名前が付けられます。あらかじめ、日付・時刻を正しく設定しておいてください（☞P.56）。
  例：2009年7月21日午後1時5分にバックアップ→[datagr090721_1305]

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[個別バックアップ／復元]▶[microSDへバックアップ]

2 データ種別を選ぶ▶⊙

3 端末暗証番号を入力▶⊙▶[はい]

- 電池残量が少ないときはバックアップできません。
- バックアップされたデータは、他のFOMA端末で読み込んでも利用できないことがあります。
- 辞書データは、ユーザ辞書とダウンロード辞書変換した辞書が保存されます。ユーザ辞書は1ファイルで、ダウンロード辞書変換した辞書は辞書ごとに1ファイルで保存されます。それ以外のデータは、機能ごとに1ファイルで保存します。

電話帳について

- 名前やフリガナ、電話番号、メールアドレスの登録場所が変わることがあります。
- 電話帳2in1設定もバックアップされます。

- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ シークレットコード　■ 着信音設定　■ 着信ランプ設定
  - ■ 代替画像設定　■ FOMAカード内の電話帳
  - ■ グループ名以外のグループ設定
  - ■ 再配布不可の画像ファイル
- 電話帳をバックアップするときは、所有者情報の保存確認画面が表示されます。2in1のモードを[Bモード]に設定していても、Aナンバーの所有者情報がバックアップされます。

スケジュールについて
- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ アラーム時刻以外のアラーム情報　■ 画像設定　■ 連絡先
  - ■ 視聴予約、録画予約　■ 祝日設定　■ 誕生日データ
- 終了日時が入力されていないデータをバックアップすると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて
- 次の情報はバックアップされません。
  - ■ ｉアプリTo　■ 再配布不可の添付ファイル
  - ■ FOMAカード内のSMS

辞書データについて
- 前回バックアップした辞書データがある場合、ユーザ辞書は新規ファイルとして追加保存されます。ダウンロード辞書変換した辞書は前回のバックアップデータをすべて消去してから保存されます。

microSDカード→FOMA端末にバックアップデータを読み込む

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[個別バックアップ／復元]▶[本体へ復元]

2 データ種別を選ぶ▶⊙

3 バックアップデータを選ぶ▶⊙

4 端末暗証番号を入力▶⊙

5 読み込み方法を選ぶ

◆ **[上書き]▶[はい]**
◆ **[追加]**

- 電池残量が少ないときは復元できません。
- バックアップデータ一覧画面のサブメニューから、削除などの操作ができます。

電話帳について
- ピクチャーコールに設定した画像も復元されます。ただし、ｉモーションは、復元されません。
- バックアップデータを上書きする場合、電話帳のグループ名も上書きされ、上書き対象でないグループ設定は初期化されます。
- 所有者情報を含む電話帳のバックアップデータを復元するときは、操作5を行うと所有者情報を復元するかどうかの確認画面が表示されます。
  [はい]を選択すると、ご契約の電話番号を除いて上書きされます。
  [いいえ]を選択すると、所有者情報を1件の電話帳として登録します。
- 電話帳のバックアップデータ復元時に登録件数が1000件に達したときは、それ以降の電話帳は復元されません。

ブックマークについて
- SH-01Aより前に発売された機種でバックアップしたデータは、フォルダ情報がバックアップされていないため、復元したブックマークは[Bookmark]フォルダに保存されます。

メールについて
- SH-01Aより前に発売された機種でバックアップしたデータは、フォルダ情報がバックアップされていないため、復元した受信メールは[受信トレイ]に、送信メールは[送信トレイ]に、未送信メールは[未送信トレイ]に保存されます。
- メールは、転送に時間がかかることがあります。

辞書データについて
- ユーザ辞書は上書きされ、ダウンロード辞書変換した辞書は追加保存されます。

microSDデータ参照

microSDカードのデータをプレビューする

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[microSDデータ参照]**

2 **データを選ぶ▶⦿**

- microSDデータ詳細画面やmicroSDデータ一覧画面のサブメニューから、FOMA端末(本体)へコピーなどの操作ができます。

microSDカードの管理について

microSDカードをフォーマットする<フォーマット>

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

1 **カスタムメニューで[LifeKit]▶[microSD]▶[フォーマット]**

2 **端末暗証番号を入力▶⦿▶[はい]**

- 電池残量が少ないときはフォーマットできません。
- 実行中は、microSDカードを抜かないでください。
- フォーマットを中止すると、microSDカードがFOMA端末やパソコンなどで認識されなくなります。認識されなくなったときは、フォーマットをやり直してください。
- microSDカードの種類によっては、著作権保護機能に対応していないため、フォーマットできないことがあります。microSDカードを挿入し直すとご使用いただけることもありますが、そのmicroSDカードはFOMAサポート対象となっていないため、データの保存やコピーなどの保証はいたしかねます。
- microSDカードの製造メーカや容量などについては☞P.343

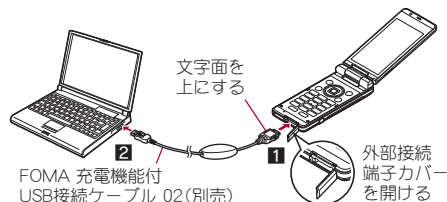
microSDリーダーライターとして使う<USBモード設定>

FOMA端末をFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02(別売)でパソコンに接続して利用するときのモードには、次のモードがあります。microSDリーダーライターとして使う場合は、[microSDモード]で接続してください。

通信モード	パケット通信、64Kデータ通信、データの送受信(OBEX™通信)をするときのモードです(☞P.444)。
microSDモード	microSDカードのデータを読み込み/書き込みするときのモードです。
MTPモード	Windows Media Player 11を利用してmicroSDカードに音楽データを転送するときのモードです。登録方法については☞P.260

- 通信モード動作中は、USBモード設定の変更はできません。

1 **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のFOMA端末側コネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む(1)**

2 **FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02のパソコン側コネクタをパソコンのUSBコネクタに差し込む(2)**

3 **待受画面で⦿▶ストックアイコン[USB](USBモード設定)を選ぶ▶⦿**

- USBモード設定が[microSDモード]/[MTPモード]の場合は、ストックアイコンが表示されずmicroSDモード/MTPモードで接続されます。

データ管理

4 ［microSDモード］▶［はい］

通信モードに戻る

- サイドボタン以外のいずれかのボタンを押す▶［はい］
  - ・USBモード設定は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を取り外しても保持されます。

■ 利用するモードを設定する

FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を接続して利用するモードを、あらかじめ設定しておくことができます。

1 カスタムメニューで［LifeKit］▶［microSD］▶［USBモード設定］

- ［設定］▶［一般設定］▶［USBモード設定］でも操作できます。

2 モードを選ぶ▶⦿

- パソコンに接続中に操作した場合、［microSDモード］／［MTPモード］を選択すると、切り替え確認画面が表示されます。

- FOMA端末をmicroSDリーダーライターとして利用するには、次の機器が必要です。

項　目	説　明
接続ケーブル	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02
パソコン	FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02が使用できるUSBポート（Universal Serial Bus Specification Rev1.1／2.0準拠）が使用可能なパソコン
対応OS	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista（いずれも日本語版）

- パソコンに、新しいハードウェアを検索する旨の画面が表示された場合は［キャンセル］をクリックしてください。
- FOMA端末とパソコンが正しく接続されていないときは、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。
- FOMA端末の電池残量がほとんど残っていない状態や電池切れの状態では、データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。パソコンの電源についても確認してください。
- microSDモードへの切り替え中やmicroSDモード中はmicroSDカードを抜かないでください。データが壊れたり、正常に動作しなくなることがあります。
- データの読み込み／書き込み中はFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 02を抜かないでください。データの送受信ができないだけでなく、データが失われることがあります。

microSDカードの管理情報を更新する

<管理情報の更新>

microSDカードを他の機器で利用したときは、microSDカードの管理情報を更新する必要があります。

1 カスタムメニューで［LifeKit］▶［microSD］▶［管理情報の更新］

2 項目を選ぶ▶⦿▶📷▶［はい］

- 電池残量が少ないときは管理情報を更新できません。
- microSDカードの空き容量がないときは、管理情報を更新できないことがあります。
- FOMA端末で管理情報を更新しないと、microSDカードが正しく動作しないことがあります。
- microSDカード内のファイル数やデータ量によっては、管理情報の更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- 更新中はmicroSDカードを抜かないでください。
- 更新中に次の機能はご利用になれません。
  - ■ｉアプリ　■静止画・動画撮影　■バーコードリーダー
  - ■ドキュメントビューア　■赤外線受信
  - ■microSDカードのメモリ確認
  - ■各機能からのmicroSDデータ参照

パソコンなどで作成したデータをFOMA端末で確認する<インポート>

パソコンなどで作成したデータをドコモケータイdatalink（☞P.448）を使ってmicroSDカードのインポートフォルダにコピーすると、FOMA端末で確認できます。

- ［ミュージック］を選択した場合は、microSDカードの［SD_BIND］フォルダ内の着うたフル®が表示されます。

1 **カスタムメニューで［LifeKit］▶［microSD］▶［インポート］**

2 **データを選ぶ▶◉**

- 通常のデータ操作と同様に、サブメニューからデータの削除、コピーまたは移動、情報表示などが利用できます。
- 横4076×縦4076ドットを超える静止画（JPEG、GIF）は表示できないことがあります。その場合は、サムネイル画像を表示することもあります。
- PDFデータはインポートフォルダにある状態では表示できません。FOMA端末（本体）にコピーしてから表示してください。
- ムービーはFOMA端末（本体）にコピーできません。
- 次のようなメールは、添付ファイルの一部または全部が削除されます。
  - ■ 添付ファイルの合計が100Kバイトを超えるメール
  - ■ 添付ファイルが合計11件以上添付されているメール
- インポートフォルダのデータについては、次のようなファイル名の制限があります。制限を超えているデータは表示されず、インポートできません。
  - ■ PIMデータ、静止画、ｉモーション、メロディは、全角・半角を問わず228文字以内（拡張子を除く）
  - ■ PDFデータは、全角・半角を問わず60バイト以内（拡張子を除く）
- ファイル名が英小文字で８文字以下のときは、インポートフォルダでは英大文字で表示・インポートされます。
- バックアップデータをインポートフォルダに入れると、データ内の最初の１件のみを表示します。
- インポートフォルダからFOMA端末にデータをコピーする場合、ファイル名に特殊な記号やカタカナが含まれているときは、コピーできないことがあります。

インポートフォルダ内のデータを一括で振り分ける<microSD一括振分け>

microSDカードのインポートフォルダに保存したデータを、一括でそれぞれのフォルダに振り分けできます。

- 振り分けできるのは、次の機能のデータです。
  - ■ メロディ　■ マイピクチャ　■ ｉモーション
  - ■ マイドキュメント　■ 電子書籍／電子辞書／電子コミック

1 **カスタムメニューで［LifeKit］▶［microSD］▶［microSD一括振分け］▶［はい］**

- 一括振り分け中に振り分け先フォルダ内の件数がいっぱいになった場合、新しいフォルダを自動で作成して振り分けます。ただし、マイドキュメントと電子書籍／電子辞書／電子コミックの場合、新しいフォルダは作成されません。

各種データを管理する

データBOXや、LifeKitの各種ビューア内に保存されているデータを管理するために、フォルダの作成／削除やデータの移動／コピーなどができます。

フォルダを管理する

■ ユーザフォルダを作成する<フォルダ新規作成>

- データBOXでは、各データ種別ごとに最大20個のユーザフォルダを新規作成できます。
- マンガ・ブックリーダーでは、最大397個のユーザフォルダを作成できます。［マンガ］フォルダについては、フォルダ内にさらに最大999個のフォルダを作成することができます。

1 **フォルダ一覧画面で[カメラ]▶[フォルダ管理]▶[フォルダ新規作成]**

2 **フォルダ名を入力▶●**

- microSDカード内にユーザフォルダを作成するとき、作成するフォルダの種類を選択できる場合があります。
- データBOX内のときは、全角9文字(半角18文字)まで入力できます。
- [移行可能コンテンツ]フォルダ内のときは、全角10文字(半角20文字)まで入力できます。
- マンガ・ブックリーダー内のときは、全角・半角64文字まで入力できます。ただし、[マンガ]フォルダ内のときは、全角10文字(半角20文字)までです。

■ フォルダ名を編集する<フォルダ名編集>

ユーザフォルダおよび[移行可能コンテンツ]フォルダ内のフォルダ名を変更することができます。

1 **フォルダを選ぶ▶[カメラ]▶[フォルダ管理]▶[フォルダ名編集]**

2 **フォルダ名を編集▶●**

■ ユーザフォルダにセキュリティを設定する<フォルダセキュリティ>

FOMA端末内のユーザフォルダにセキュリティを設定できます。

- ワンセグとマンガ・ブックリーダーでは、ユーザフォルダ以外でもフォルダセキュリティを設定できます。
- フォルダ内を表示するときは、端末暗証番号を入力します。
- マイピクチャ、iモーション／ムービーの場合、フォルダセキュリティを[ON(シークレット)]に設定すると、フォルダは表示されなくなります。シークレットモードを[ON]に設定すると表示されます(☞P.125)。
- クイック検索で内蔵辞書を利用する場合、内蔵辞書登録(☞P.388)された電子辞書はフォルダセキュリティの対象外となります。
- フォルダセキュリティを[ON]または[ON(シークレット)]に設定しても、待受画面や発着信画面などに設定されている画像は表示できます。

フォルダセキュリティ設定中のフォルダマーク

[フォルダ(鍵)マーク]	[ON]	[フォルダ(鍵)マーク]	[ON(シークレット)]

- フォルダマークのデザインは、機能や表示切替の設定によって異なる場合があります。

1 **ユーザフォルダを選ぶ▶[カメラ]▶[フォルダ管理]▶[フォルダセキュリティ]**

2 **端末暗証番号を入力▶●**

3 **設定を選ぶ▶●**

■ ユーザフォルダを削除する<削除>

1 **ユーザフォルダを選ぶ▶[カメラ]▶[削除]**

2 **削除方法を選ぶ**

◆ **[フォルダ1件削除]**

◆ **[フォルダ選択削除]▶フォルダを選ぶ▶●▶[カメラ]**

・マンガ・ブックリーダーのとき:[フォルダ選択削除]▶端末暗証番号を入力▶●▶フォルダを選ぶ▶●▶[カメラ]▶[はい]

◆ **[全フォルダ内全件削除]**

◆ **[全フォルダ削除]**

3 **端末暗証番号を入力▶●▶[はい]**

- フォルダ内に待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータが保存されているときは、フォルダ削除できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときは削除できません。縦表示に切り替えてから削除してください。

データを管理する

■ タイトルを編集する<タイトル編集>

- タイトル名はデータ一覧などで表示される名前です。

1 **データを選ぶ▶[カメラ]▶[データ編集]▶[タイトル編集]**

- データによっては[タイトル編集]を選択したあと、[直接入力](または[タイトル編集])／[オリジナルタイトルに戻す]を選択します。

次ページへ続く

2 タイトルを編集 ▶ ●

- 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。i モーションは全角18文字(半角36文字)まで、電子コミックは全角31文字(半角63文字)まで、電子書籍/電子辞書は全角・半角64文字まで、Music&Videoチャネルは全角126文字(半角253文字)まで入力できます。

■ ファイル名を編集する<ファイル名編集>

● ファイル名はデータを i モードメールに添付して送信するときに使用される名前です。

1 データを選ぶ ▶ [📷] ▶ [データ編集] ▶ [ファイル名編集]

2 ファイル名を編集 ▶ ●

- 半角36文字まで入力できます。電子書籍/電子辞書は、全角・半角64文字まで入力できます。

● 半角8文字以内のファイル名および拡張子の英字は、半角小文字が半角大文字に変わることがあります。
● [プリインストール]フォルダ内のデータなど、データによってはファイル名を編集できないものもあります。

■ データを並べ替える<ソート>

例:マイピクチャのとき

1 データ一覧画面で[📷] ▶ [静止画設定] ▶ [ソート]

2 ソート方法を選ぶ ▶ ●

● microSDカード内データのファイル制限を変更すると日時情報が更新されるため、情報表示の保存日時で表示される日時と日付順でソートした結果が一致しないことがあります。

■ データを別のフォルダに移動する<フォルダ間移動>

1 データを選ぶ ▶ [📷] ▶ [移動/コピー] ▶ [フォルダ間移動]

2 移動方法を選ぶ

◆ [1件移動]
◆ [選択移動] ▶ データを選ぶ ▶ ● ▶ [📷]
◆ [フォルダ内全件移動] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ●

3 移動先フォルダを選ぶ ▶ [📷]

- マンガ・ブックリーダーのとき:移動先フォルダを選ぶ ▶ ●
- 選択移動とフォルダ内全件移動の場合、移動先として[初期フォルダへ戻す]を選択できます(マンガ・ブックリーダーを除く)。データはそれぞれの取得元のフォルダに移動されます。
- データの移動中に[CLR]や[終話]を押すと、中止を示すメッセージが表示されますが、移動処理は中止されません。

● マイピクチャ、メロディ、マンガ・ブックリーダーの[プリインストール]フォルダ内のデータは移動できません。
● ユーザフォルダがないときは移動できません。
● 移動先フォルダの最大保存件数を超えるデータは移動できません。microSDカードの保存件数については☞P.347
● microSDカードの[マルチメディア]フォルダ内のデータは[カメラフォルダ]には移動できません。
● マンガ・ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときは移動できません。縦表示に切り替えてから移動してください。

■ 詳細情報を表示する<情報表示>

1 データを選ぶ ▶ [📷] ▶ [情報表示]

● 表示される情報は、データによって異なります。
● サポートブックの情報は表示できません。

■ データを削除する<削除>

1 データを選ぶ ▶ [📷] ▶ [削除]

2 削除方法を選ぶ

◆ [1件削除]
◆ [選択削除] ▶ データを選ぶ ▶ ● ▶ [📷]
◆ [フォルダ内全件削除] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ●

3 [はい]

● 待受画面や着信音などの各種機能に設定されているデータは、フォルダ内全件削除で削除できません。

- マイピクチャ、メロディの[プリインストール]フォルダ内のデータや、マンガ・ブックリーダーのサポートブックは削除できません。
- マンガ・ブックリーダーの場合、ビューアポジションで横表示のときは削除できません。縦表示に切り替えてから削除してください。
- お買い上げ時に登録されているデータを削除後にもう一度ご利用になるときは、i Menu内のサイト[SH-MODE]からダウンロードできます(☞P.131)。

データBOX内のデータを検索する<データBOX検索>

タイトル名や保存日付などの条件を設定して、データBOX内から条件に合ったデータを検索できます。

- マイピクチャ、i モーション/ムービー、ワンセグ、メロディ、マイドキュメント、きせかえツール、マチキャラ、キャラ電のデータを検索できます。
- 複数の条件を設定し、絞り込み検索を行うことができます。
- 検索結果は最大5000件まで表示されます。
- microSDカード内のデータを検索するときは、microSDカードの管理情報を更新してください(☞P.355)。

1 カスタムメニューで[データBOX] ▶ [データBOX検索]

2 検索条件を設定

◆ **[タイトル] ▶ [検索語] ▶ 検索文字列を入力 ▶ ⦿**
- 全角25文字(半角50文字)まで入力できます。
- 検索履歴が最新のものから5件まで記憶されます。履歴を利用するときは[履歴1]~[履歴5]を選択します。

◆ **[保存日付] ▶ 保存日付を選ぶ ▶ ⦿**
- [保存日付範囲指定]を選んだときは、日付範囲を入力して⦿を押します。

◆ **[ファイルタイプ] ▶ ファイルの種類を選ぶ ▶ ⦿ ▶ [📷]**
- フレーム画像、スタンプ画像、Flash画像を検索するときは、[マイピクチャ(その他)]を選択します。

◆ **[取得元] ▶ 取得元を選ぶ ▶ ⦿ ▶ [📷]**
- 検索条件を設定した項目には、[■]が表示されます。解除するときは[✉]を押します。

3 検索を開始するときは[i]
- 検索の中断/再開:[i]
- フォルダセキュリティ表示が[ON]のときは、端末暗証番号の入力が必要です。

4 検索結果を選ぶ ▶ ⦿
- 検索結果の並べ替え:[✉]
  - 並べ替えは、検索結果画面のサブメニュー操作のソートの設定に従います。

- microSDカードの空き容量がなく管理情報が正しく更新されなかった場合、検索結果に表示されないファイルがあります。

■ 検索設定画面のサブメニュー操作

[フォルダセキュリティ表示] ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿	
[設定確認]	
[表示切替]	☞P.325
[本体⇔microSD切替] ▶ 検索先を選ぶ ▶ ⦿	
[検索開始]	
[解除] ● 検索条件を解除します。	

■ 検索結果画面のサブメニュー操作

[タイトル編集]	☞P.357
[1件削除]	☞P.358
[情報表示]	☞P.358
[移動/コピー]	
▶ [microSDへ1件移動]	☞P.350
▶ [microSDへ1件コピー]	☞P.349
[検索表示設定]	
▶ [表示切替]	☞P.325
▶ [ソート]	☞P.358

メモリの使用状況を確認する<メモリ確認>

■ FOMA端末(本体)のメモリ使用状況を確認する

データBOXのフォルダ一覧画面やデーター覧画面で、画面右上にFOMA端末(本体)のメモリ使用状況を示す数値が表示されます。

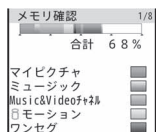
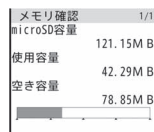
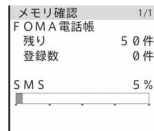
- ミュージックのフォルダ一覧画面では表示されません。

マイピクチャのフォルダ一覧画面の場合

■ 各項目ごとのメモリ使用状況を確認する

FOMA端末(本体)、microSDカード、FOMAカードに保存されているデータの容量や空き容量などを表示します。

1 カスタムメニューで[設定]▶[一般設定]▶[確認]▶[メモリ確認]

- FOMA端末(本体)のメモリ確認中に、他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、⊕を押します。

FOMA端末(本体)

microSDカード

FOMAカード

- 電話帳やスケジュールの登録件数はシークレットデータを含んで表示されます。
- iアプリには削除できないものがあるため、iアプリの使用量が0%になることはありません。

メモリ不足や保存件数オーバーになったときは

データを保存するときにメモリが足りなくなると、上書き確認画面が表示され不要なデータやファイルを削除して保存できます。

1 上書き確認画面で[はい]

2 端末暗証番号を入力▶⊙

3 データを選ぶ▶⊙▶[i]▶[はい]

- メモリの確保状態が100%になるまでデータを選択します。
- ミュージックのときは、データを選んで📷を押すと音楽データが再生されます。

赤外線通信

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。また、iアプリと連携して、赤外線通信機能を搭載した機器と連動させたりできます。

- FOMA端末の赤外線通信機能は、IrMC™ 1.1規格に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC™ 1.1規格に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- FOMA端末の赤外線送受信機能はIrSimple™ 1.0規格に対応しています。
- 赤外線通信中は圏外と同じ状態になり、通話、iモード、データ通信などはできません。
- 通話中やオールロック中、セルフモード中は赤外線通信できません。
- ダイヤル発信制限中は、電話帳や所有者情報の送受信ができません。

赤外線通信で送受信できるデータ

- microSDカード内のデータは送受信できません。ただし、microSDカード内のJPEG画像は送信できます。

● FOMAカード内の電話帳は送受信できません。
● iアプリToが貼り付けられたiモードメールの貼り付け情報は、削除され、送受信されません。

■ FOMA端末から送信できるデータ

機　能	1　件	全　件
電話帳	○	○
スケジュール	○	○
テキストメモ	○	○
iモードメール、SMS、エリアメール	○	○
ブックマーク	○	○
データBOXの画像、iモーション、メロディ、PDF	○	○
所有者情報	○	–
現在地通知先	○	○
トルカ	○	○
デコメアニメ®テンプレート	○	○

● 絵文字をiモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信したときは、正しく表示されないことがあります。iモード端末でも相手の機種によっては正しく表示されないことがあります。

電話帳について

● 次の情報は送信されません。
　■ シークレットコード　■ 着信音設定　■ 着信ランプ設定
　■ 代替画像設定
● 1件送信では、グループ設定は送信されません。
● シークレット登録した電話帳はシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。1件送信した場合、シークレット登録は[OFF]で送信されます。
● 全件送信すると、所有者情報やシークレット登録した電話帳も送信されます。

スケジュールについて

● 次の情報は送信されません。
　■ アラーム時刻以外のアラーム情報　■ 画像設定　■ 連絡先
　■ 視聴予約、録画予約　■ 祝日設定　■ 誕生日データ
● シークレット登録したスケジュールはシークレットモードを[ON]に設定しないと1件送信できません。1件送信した場合、シークレット登録は[OFF]で送信されます。
● 全件送信すると、シークレット登録したスケジュールも送信されます。
● 全件送信時、iスケジュール内予定は送信されません。

メールについて

● 貼り付けられたデータ、添付ファイル、保護メールも送信されます。添付不可のデータは送信できません。
● 100Kバイトを超えるメールは、正しく送信できないことがあります。

画像、iモーション、メロディ、PDFについて

● 送信できるデータはJPEG画像5Mバイト、GIF画像2Mバイト、Flash画像500Kバイト、iモーション5Mバイト、メロディ100Kバイト、PDF 2Mバイトまでです。
● 赤外線通信で画像を送信すると、画質が劣化したりファイルサイズが変わることがあります。
● 次のようなデータは送信できません。
　■ FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデータ
　■ FOMA端末にあらかじめ登録されているデータ
● データBOX内のデータは赤外線通信で送信できないことがあります。
● JPEG画像は高速赤外線通信で送信することができます(☞P.329)。

所有者情報について

● 受信側では電話帳として保存されます。
● 2in1利用時は、2in1のモードによって表示される所有者情報が送信されます。

トルカについて

● 次のようなデータは送信できません。
　■ 1Kバイトを超えるトルカ　■ 再配布不可のトルカ
　■ 100Kバイトを超えるトルカ(詳細)　■ 利用済みトルカ

デコメアニメ®テンプレートについて

● 次のようなデータは送信できません。
　■ FOMA端末外から取得した、ファイル制限ありのデコメアニメ®テンプレート
　■ FOMA端末にあらかじめ登録されているデコメアニメ®テンプレート

■ FOMA端末で受信できるデータ

機　能	1件	全件	格納場所	格納順
電話帳	○	○	電話帳	1件受信時：メモリ番号、010～999→000～009の順で未登録番号に登録 全件受信時：メモリ番号の情報に従って登録
スケジュール	○	○	スケジュール	開始日時順
テキストメモ	○	○	テキストメモ	最終修正日時順
iモードメール、SMS、エリアメール	○	○	iモードメール、SMS	受信／送信／保存日時順
ブックマーク	○	○	ブックマーク	1件受信時：一番上 全件受信時：利用された古い順
データBOXの画像、iモーション、メロディ、PDF	○	○	データBOXのマイピクチャ、iモーション／ムービー、メロディ、マイドキュメント	－
所有者情報	○	－	電話帳	1件受信時：メモリ番号、010～999→000～009の順で未登録番号に登録
現在地通知先	○	○	現在地通知先一覧	－
トルカ	○	○	トルカ	－
デコメアニメ®テンプレート	○	○	デコメアニメ®テンプレート一覧	－

- 全件受信時に上書きを選択すると、該当機能のデータがすべて削除されますので、ご注意ください。
- 全件受信の場合、相手の機種や状態によっては、相手の機種で設定していたフォルダの振分け条件設定が反映されない場合があります。

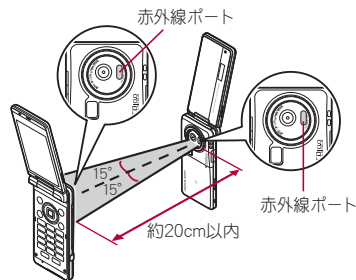
電話帳について
- 1件受信したデータのグループ設定は、すべて[グループなし]になります。
- 全件受信すると、ご契約の電話番号以外の所有者情報は上書きされます。
- 名前が未登録のデータを受信したときは[No Name]と表示されます。

スケジュールについて
- 終了日時が入力されていないデータを受信すると、終了日時に開始日時が設定されます。

メールについて
- 題名が途中までしか受信できないことがあります。

ブックマークについて
- 相手の機種によってはブックマークのフォルダ情報が反映されないことがあります。

現在地通知先について
- すでに同じ電話番号の現在地通知先が登録されているときは、重複して登録されません。

赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

- 図のように受信側と送信側のFOMA端末の赤外線ポートが約20cm以内に向き合うようにしてください。

- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線ポートを向き合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で拭き取ってください。
- 赤外線通信が正常にできなかったときは、続けるかどうかの確認画面が表示されます。[はい]を選択すると、やり直すことができます。FOMA端末を近づけてもう一度通信してください。
- IrSS™通信は、片方向通信のため、受信側からの応答を確認せずに送信します。このため、受信側が受け取れないときでも送信側は正常に終了します。

データを送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、赤外線通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

データを送信する＜赤外線送信／赤外線全件送信＞

例：電話帳のとき

1 待受画面で📖

2 名前を選ぶ ▶ 📷 ▶ [データ送信] ▶ [赤外線送信]

3 送信方法を選ぶ

◆ **[送信]**

◆ **[全件送信] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ⊙ ▶ 認証パスワードを入力 ▶ ⊙**

- 受信者のFOMA端末を受信待ち状態にします。

4 [はい]

- 全件送信の場合、受信側で入力した認証パスワードと一致すると、送信が開始されます。

- スケジュールを全件送信するときは、カレンダー画面またはスケジュール全件表示にしてから操作してください。
- データBOXのデータを全件送信するときは、フォルダ一覧画面から操作してください。

データを受信する＜赤外線受信／赤外線全件受信＞

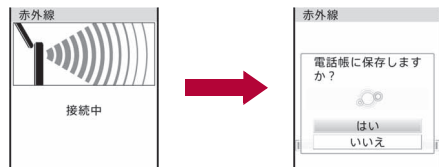
1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [赤外線受信]

2 受信方法を選ぶ

◆ **[受信] ▶ [はい]**

◆ **[全件受信] ▶ [はい] ▶ 端末暗証番号を入力 ▶ ⊙ ▶ 送信側と同じ認証パスワードを入力 ▶ ⊙**

- 送信側のFOMA端末を送信状態にします。
- 受信待ち状態になります。30秒以内に送信側のFOMA端末からデータが送信されると、自動的に通信を開始します。

例：電話帳を１件受信したとき

3 [はい]

- 受信の中止：受信中に📷

- スケジュールまたはブックマークを１件受信した場合、同じ内容のデータが存在するときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選ぶと現在のデータに上書きされます。
- 全件受信すると、受信したデータにより上書きされ、登録していたデータはすべて削除されますので、ご注意ください。ただし、データBOXの画像やｉモーション、メロディ、PDF、またはデコメアニメ®テンプレートの場合、元のデータは削除されずに追加保存されます。

ｉアプリと連携して赤外線通信を行う

実行中のｉアプリから赤外線通信を利用したり、赤外線通信からｉアプリを起動したりできます。

- ｉアプリから赤外線通信を起動する方法については☞P.292

赤外線通信からｉアプリを起動する

ｉアプリ起動機能を持つ赤外線通信機器からの赤外線通信中に、ｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトを起動できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[赤外線受信]▶[受信]▶[はい]

- 受信待ち状態になります。送信側からｉアプリ起動の信号を受信すると、ソフトが起動します。

- ｉアプリTo設定を[許可しない]に設定しているときは、赤外線通信からｉアプリを起動できません。
- ｉアプリ待受画面として起動することはできません。

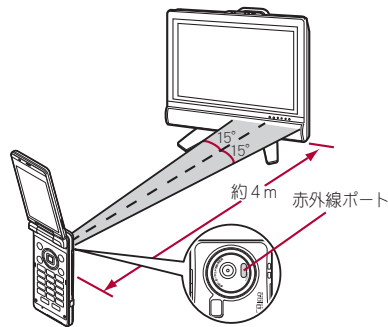
赤外線リモコン

赤外線リモコン機能を利用する

ｉアプリのソフトからFOMA端末の赤外線ポートを利用して、テレビやビデオなど赤外線リモコンに対応した機器を操作できます。

- 赤外線リモコン機能を利用するときは、赤外線リモコン機能に対応したｉアプリのソフトをダウンロードする必要があります。

リモコン操作を行う

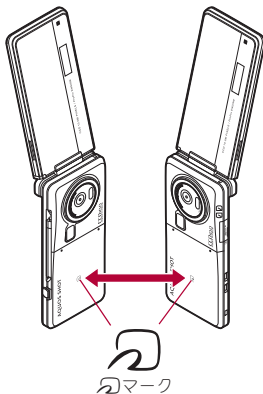
赤外線リモコン機能に対応したｉアプリを起動し、FOMA端末の赤外線ポートをテレビやビデオなどのリモコン受光部の正面に向けて、リモコン操作を行います。

- 実際の操作方法はｉアプリのソフトによって異なります。
- 操作できる距離は、約４mです（相手側の機器や周囲の明るさなどによって変わります）。

- セルフモード中は、赤外線リモコン機能を使用できません。
- 相手側の機器によっては、正常に操作できないことがあります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くなどでは、正常に操作できないことがあります。

ｉC通信

ｉC通信機能を搭載した他のFOMA端末などと、データを送受信することができます。

- ｉC通信中は圏外と同じ状態になり、通話、ｉモード、データ通信などはできません。
- 通話中やＩＣカードロック中はｉC通信できません。
- データBOXの画像・ｉモーション・メロディ・PDFや、デコメアニメ®テンプレートは全件送受信できません。これ以外の送受信できるデータや各種ロック中の動作については赤外線通信（☞P.360）と同様です。
- ｉアプリからｉC通信を起動する方法については☞P.292

ｉＣ通信機能をお使いになるときのご注意

- 図のように受信側と送信側のFOMA端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、FOMA端末を動かさないでください。
- 相手のFOMA端末によっては、データを送受信しにくいことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- ｉＣ通信中はFOMA端末の着信ランプが点滅します（☞P.111）。
- 充電中はｉＣ通信によるデータの送信はできません。

データを送受信する

- 全件データの送受信には、端末暗証番号と認証パスワードの入力が必要になります。認証パスワードは、ｉＣ通信のための専用パスワードです。送受信を始める前にお好きな４桁の数字を決めておき、送信側・受信側で同じ数字を入力します。

データを送信する<送信／全件送信>

例：電話帳のとき

1. **待受画面で📖**
2. **名前を選ぶ▶📷▶［データ送信］▶［ｉＣ送信］**
3. **送信方法を選ぶ**
   - ◆［送信］
   - ◆［全件送信］▶端末暗証番号を入力▶◉▶認証パスワードを入力▶◉
4. **［はい］**
5. **相手のFOMA端末とマークを重ね合わせる**

データを受信する<受信／全件受信>

1. **待受画面で相手のFOMA端末とマークを重ね合わせる**
2. **［はい］**
   - 全件受信のとき：［はい］▶端末暗証番号を入力▶◉▶送信側と同じ認証パスワードを入力▶◉▶［はい］
     - ・受信の中止：受信中に📷

ボイスレコーダー

ボイスレコーダーとして使う

FOMA端末をボイスレコーダーとして利用できます（microSDカードが必要です）。

- 録音した音声は、［音声のみ］（映像なし）のｉモーションとして、microSDカードの［マルチメディア］フォルダに最大1000件保存できます（録音時間により保存件数は変わります）。１件あたり最長約６時間録音できます。
- 1000件を超えて録音しようとすると、録音に失敗した旨のメッセージが表示され、ボイスレコーダーが終了します。
- 録音した音声を64MバイトのmicroSDカードに保存するときは、最長約7.7時間保存できます。

次ページへ続く▶▶

- 録音距離は、約1.5m以内をおすすめします。
- 録音した音声は、i モーションプレーヤー（☞P.331）で再生できます。

録音する

- 録音開始音が鳴り、録音が開始されます。録音中はピクチャーライトが点滅します。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[ボイスレコーダー]▶◉

- 一時停止／再開：[i]

ボイスレコーダー画面

2 録音を止めるときは、◉

- 次の場合は、自動的に録音が停止します。
  - 残時間表示が00:00:00になったとき
  - 録音時間が約６時間に達したとき
  - microSDカードの空き容量がなくなったとき

3 [保存]

- 録音した音声を保存します。
- 録音した音声の再生：[再生]
- 録音した音声を取り消す：[取消]▶[はい]

- 録音したデータは、ファイル制限なしのファイルとして保存されます。
- 録音中にFOMA端末を閉じても録音は継続されます。
- 録音中に電話がかかってくると、録音が自動的に停止し、電話に出ることができます。通話終了後、保存確認画面が表示されます。

■ ボイスレコーダー画面のサブメニュー操作

[データBOX表示]

[セルフタイマー]▶セルフタイマー時間を選ぶ▶◉

PDF対応ビューア

PDFデータを表示する

- 表示するファイルはあらかじめデータBOXのマイドキュメント、またはmicroSDカードの¥PRIVATE¥DOCOMO¥DOCUMENT¥PUDxxxフォルダに置いてください。microSDカードに保存したときは、保存してからmicroSDカードの管理情報を更新してください（☞P.355）。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[PDF対応ビューア]

- [データBOX]▶[マイドキュメント]でも操作できます。

2 ファイルを選ぶ▶◉

内容表示画面

- PDF対応ビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むドキュメントは、正しく表示されないことがあります。
- ファイルによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できないこともあります。
- ファイル名に、～、‖、－、¢、£、¬が含まれるPDFデータは非対応です。

■ 内容表示画面のボタン操作

操作	ボタン	操作	ボタン
画面の縮小	[1]	ライトアップ	[#]（１秒以上）
表示を90度左回転	[2]		
画面の拡大	[3]	操作ガイドの表示	[#]
前ページの表示	[✉]	ページ全体表示（フィット）／等倍表示切替	◉
次ページの表示	[📖]		
全画面表示	[i]		
リンク表示モードに切替	[*]	画面をスクロール	✥

データ管理

■ タッチパネル操作

ビューアポジションで内容表示画面表示中はタッチパネルで操作します。

- タッチパネルの主な操作については☞P.39
- コントロールボタンで次の操作ができます。

Back	前ページの表示	+ Zoom	画面の拡大※
Next	次ページの表示	− Zoom	画面の縮小※

※ サブメニューで[ズーム]を選択したあとに表示されます。ボタンを押すたびに、拡大／縮小の倍率が変わります。0を押すと倍率の調整が完了します。

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]	
▶[フォルダ新規作成]	☞P.356
▶[フォルダ名編集]	☞P.357
▶[フォルダセキュリティ]	☞P.357
[削除]	☞P.357
[microSDへ全件コピー]	☞P.348
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.363
[表示切替]	☞P.325
[本体⇔microSD切替]	

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集]	☞P.357
[削除]	☞P.358
[情報表示]	☞P.358
[移動／コピー]	
▶[フォルダ間移動]	☞P.358
▶[microSDへコピー]	☞P.349
[データ送信]	
▶[赤外線送信]	☞P.363
▶[ｉＣ送信]	☞P.365
[マイドキュメント設定]	
▶[表示切替]	☞P.325
▶[ソート]	☞P.358
[本体⇔microSD切替]	

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[ズーム]▶📷(拡大)／🔋(縮小)	
[表示を回転]▶回転方向を選ぶ▶⊙	
[画面設定]	
▶[ページレイアウト]▶ページレイアウトの種類を選ぶ▶⊙	
▶[表示]▶画面表示方法を選ぶ▶⊙	
▶[スクロールバー]▶[ON]	
▶[倍率・ページ番号]▶[ON]	
[ページ移動]	
▶[最初のページ]	
▶[最後のページ]	
▶[指定のページ]▶ページ番号を入力▶⊙	
[しおり・マーク]	
▶[しおり表示]	☞P.368
▶[ｉモードしおりの追加]	☞P.368
▶[マーク表示]	☞P.368
▶[マークの追加]	☞P.369
[検索]	☞P.369

次ページへ続く▶▶

[リンク表示]
● リンク表示モードに切り替えます。

[画面切り出し]▶[はい]
● 表示しているイメージを静止画として保存します。

[保存]▶[はい]▶フォルダを選ぶ▶📷

[文書のプロパティ]

[ライトアップ]

[残り全てを取得]▶[はい]
● 未取得のPDFデータをすべて取得します。

[操作ガイド]

[タブ]
▶[タブを閉じる]▶閉じるタブウィンドウを選ぶ▶⦿▶[はい]
▶[タブ切替]▶表示するタブウィンドウを選ぶ▶⦿

[ズーム]について
● 拡大は1000%、縮小は８%まで表示できます。

[リンク表示]について
● リンク表示モードにしたときは、画面をスクロールできません。

[画面切り出し]について
● 「460×532」のサイズで、JPEG画像として保存されます。制限があるPDFは切り出しできなかったり、FOMA端末外への出力ができないことがあります。

[タブ]について
● ｉモード中／フルブラウザ中にPDFデータをダウンロードしようとしたとき、PDF対応ビューアが起動した場合に操作できます。

しおりを利用する

● PDFデータをFOMA端末から移動すると、追加したしおりが削除されることがあります。

1 内容表示画面で▶📷▶[しおり・マーク]▶[しおり表示]

2 しおりの種類を選ぶ▶⦿
• [しおり]を選択すると、あらかじめPDFデータに登録されているしおりを50件まで表示できます。[ｉモードしおり]を選択すると、追加したｉモードしおりを表示できます。

3 しおりを選ぶ▶⦿

■ ｉモードしおり一覧画面のサブメニュー操作

[削除]
▶[一件削除]▶[はい]
▶[選択削除]▶しおりを選ぶ▶⦿▶📷▶[はい]
▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶⦿▶[はい]

[タイトル編集]▶⦿▶タイトルを編集▶⦿

[タイトル編集]について
● 全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

■ ｉモードしおりを追加する<ｉモードしおりの追加>

● ｉモードしおりは10件まで登録できます。

1 内容表示画面で📷▶[しおり・マーク]▶[ｉモードしおりの追加]▶⦿▶タイトルを編集▶⦿
• ｉモードしおりがすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きするしおりを選択すると登録されます。

マークを利用する

● PDFデータをFOMA端末から移動すると、追加したマークが削除されることがあります。

1 内容表示画面で▶📷▶[しおり・マーク]▶[マーク表示]

2 マークを選ぶ▶⦿

■ マーク一覧画面のサブメニュー操作

[削除]
- ▶[一件削除]▶[はい]
- ▶[選択削除]▶マークを選ぶ▶⊙▶[📷]▶[はい]
- ▶[全件削除]▶端末暗証番号を入力▶⊙▶[はい]

■ マークを追加する<マークの追加>

● マークは10件まで登録できます。

1 内容表示画面で[📷]▶[しおり・マーク]▶[マークの追加]

2 [はい]

- マークがすでに10件登録されているときは、上書き確認画面が表示されます。[はい]を選択し、上書きするマークを選択すると登録されます。

PDFファイル内の文字を検索する<検索>

1 内容表示画面で[📷]▶[検索]▶⊙▶文字列を入力▶⊙

2 [ⓘ]

- 次を検索：[📖]
- 前を検索：[✉]

■ 検索画面のサブメニュー操作

[大文字小文字を区別]▶設定を選ぶ▶⊙

[単語に完全一致]▶設定を選ぶ▶⊙

ドキュメントビューア

Word、Excelファイルなどを表示する

microSDカード内のMicrosoft Wordファイル、Microsoft Excelファイルや画像ファイルなどを、FOMA端末のディスプレイに表示することができます。

● 表示できるファイルの種類（拡張子）：Microsoft Word（.doc）、Microsoft Excel（.xls）、Microsoft PowerPoint（.ppt）、Plain Text（.txt）、JPEG（.jpg、.jpeg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）

● 閲覧するファイルはあらかじめmicroSDカードの¥PRIVATE¥SHARP¥DOCUMENTフォルダに置いてください（☞P.345）。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[ドキュメントビューア]

2 ファイルを選ぶ▶⊙

内容表示画面

● 通常表示のときは、ドキュメントのタイトルがディスプレイ上部に表示されるマーク（時計表示や電波状態表示など）と重なって表示されます。全画面表示にすると、ディスプレイ上部に表示されるマークが非表示になります。
● ファイル内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なるときがあります。
● ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できないこともあります。
● フォントの種類によっては、正しく表示されないことがあります。
● パスワードが設定されているファイルを選択したときは、[表示できないコンテンツです]と表示され、ファイル一覧画面に戻ります。
● ファイル名が拡張子を含めて231文字以上のファイルは表示されません。
● Microsoft Excelのワークシートの1つのセルに表示される数値の桁数は、パソコンなどと異なって表示されることがあります。また、ご使用のMicrosoft Excelのバージョンによっては元号は表示されません。
● ファイル一覧画面に表示できるのは、1フォルダ400ファイルまでです。
● ドキュメントビューアで表示されるファイルの詳細については、http://k-tai.sharp.co.jp/support/d/sh-06a/をご覧ください。

■ 内容表示画面のボタン操作

操作	キー	操作	キー
画面の縮小※	1	ライトアップ※	7
表示を回転	2	操作ガイドの表示	8
画面の拡大※	3	前ページの表示※	✉
ルーペで拡大／縮小	4	次ページの表示※	🕮
ページの端や中央の表示	5	全画面表示※	ℹ
指定したページの表示	5	ページ全体表示（フィット）	⦿
静止画として保存	6	画面をスクロール※	✥
メールに添付して送信	6		

※ ルーペ画面でも操作できます。

■ タッチパネル操作

ビューアポジションで内容表示画面表示中はタッチパネルで操作します。

● タッチパネルの主な操作については☞P.39

● コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
＞	次ページの表示	＜	前ページの表示

● 次のタッチ操作ができます。

操作	タッチ操作
画面をスクロール	上下左右にスライド
ページ全体表示（フィット）	ロングタッチして指を離す
画面の拡大／縮小	2本の指の間隔を広げる／狭める

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[削除] ☞P.358

[情報表示] ☞P.358

[ソート] ☞P.358

[バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿

● 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[画面縮小]

[表示を回転]

● ファイルの縦横の向きを切り替えます。

[画面拡大]

[ルーペ] ▶ [🔍]カーソル移動

● ルーペを動かして指定した部分を拡大／縮小して表示します。

● ルーペ表示部分の拡大／縮小：📷 ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿

[移動]

▶ [画面内移動] ▶ 移動方向を選ぶ ▶ ⦿

● ページの端や中央を表示します。

▶ [指定ページ表示] ▶ ページ番号を入力 ▶ ⦿

[画面切り出し]

▶ [画像保存]

● 表示しているイメージを静止画として保存します。

▶ [メール作成] ▶ メールを作成・送信

● 表示しているイメージをメールに添付して送信します。

[ライトアップ]

[操作ガイド]

マンガ・ブックリーダー

電子書籍／電子辞書／電子コミックを表示する

電子書籍／電子辞書／電子コミックを、FOMA端末で表示できます。

● お買い上げ時は、FOMA端末（本体）に次の電子コミック、電子辞書などが登録されています。

■ サポートブック

■ NARUTO－ナルト－<ワイド版>001（電子コミック）

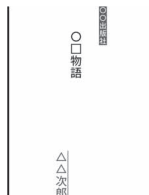
■ 明鏡モバイル国語辞典（電子辞書）

使用頻度の高い現代語を中心に約4万7100語句収録。ことわざ成句も解説。

■ ジーニアスモバイル英和辞典（電子辞書）
英会話や新聞・小説を読むときに便利なモバイル英和。約４万5700語句収録。
■ ジーニアスモバイル和英辞典（電子辞書）
現代語を中心に約５万5800語句を収録した、本格語数のモバイル和英。
（「NARUTO－ナルト－」 ©岸本斉史 スコット／集英社、「明鏡モバイル国語辞典」「ジーニアスモバイル英和辞典」「ジーニアスモバイル和英辞典」 ©2005-2008 Taishukan）

● 電子書籍、電子コミックなどは、サイトなどからダウンロードできます（☞P.185）。
● 「NARUTO－ナルト－<ワイド版>001」の続きはケータイコミックサイト「集英社マンガカプセル」でご購入いただけます。
● お買い上げ時に登録されている電子辞書を削除した場合は、付属のCD-ROM（[取扱説明書]内の[内蔵辞書（マンガ・ブックリーダー用）]）から登録できます。

1 カスタムメニューで[LifeKit]▶[マンガ・ブックリーダー]

2 データを選ぶ▶⊙
- パスワードが必要なとき：パスワードを入力▶⊙

内容表示画面

● 表示できる電子書籍などの種類（拡張子）は次のとおりです。

	形　式	拡張子
電子書籍	XMDF	「.zbf」
	テキスト	「.zbk」「.txt」「.text」
電子辞書、電子コミック	XMDF	「.zbf」

● 前回の閲覧時にCLRを押して終了したデータを選んだときは、終了時に表示されていたページが表示されます。
● 前回の閲覧時に終話キーを押して終了したときは、マンガ・ブックリーダーを起動すると自動的に終了時のページが表示されます。ただし、文字読み取りから起動したときや、クイック検索からサポートブックを表示したときは表示されません。
● データに埋め込まれている音声や画像によっては、ご利用になれないことがあります。
● 電子書籍などには、閲覧回数／閲覧期限／閲覧期間の閲覧制限が設定されているものがあります。これらのデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。内容を確認してください。
● microSDカードにも保存できます。microSDカードに保存した電子書籍などは、一覧画面に最大400件表示できます。[マンガ]フォルダ内のデータは最大1000件表示できます。

■ 内容表示画面のボタン操作

操作		ボタン	操作	ボタン
行を移動	進める	⊙／⊙	コマ／ページ切替（電子コミック表示中）	2
	戻す	⊙／⊙		
画面をスクロール（電子コミックのページ表示中）		⊙	拡大（電子コミックのページ表示中）	3
コマ移動（電子コミックのコマ表示中）	進める	⊙／⊙	前ページの表示	メールキー
	戻す	⊙／⊙	次ページの表示	本キー
縮小（電子コミックのページ表示中）		1	ページを戻る（履歴があるとき）※	iキー

※ 履歴がないときは先頭のページが表示されます。

■ タッチパネル操作

ビューアポジションで内容表示画面表示中はタッチパネルで操作します。

- タッチパネルの主な操作については☞P.39
- コントロールボタンで次の操作ができます。

ボタン	操作	ボタン	操作
Jump	ページを戻す（履歴があるとき）※1	← Hold	行／コマを戻す※2
→ Hold	行／コマを進める※2		

※1　履歴がないときは先頭のページが表示されます。
※2　ロングタッチすると、連続して行／コマを移動します。

- 次のタッチ操作ができます。

行を移動	進める	右／上にスライド
	戻す	左／下にスライド
コマ移動（電子コミックのコマ表示中）	進める	右／上にすばやくスライド
	戻す	左／下にすばやくスライド
前ページの表示		下／左にすばやくスライド
次ページの表示		上／右にすばやくスライド
リンク先の表示		反転表示しているリンクをタッチ

■ フォルダ一覧画面のサブメニュー操作

[フォルダ管理]

- ▶[フォルダ新規作成] ☞P.356
- ▶[フォルダ名編集] ☞P.357
- ▶[フォルダセキュリティ] ☞P.357

[削除] ☞P.357

[表示フォルダ切替]▶フォルダを選ぶ▶⊙

[本体⇔microSD切替]

[ファイルリストへ切替]（[マンガ]フォルダ内のみ）

- フォルダ一覧画面からデータ一覧画面に切り替えます。

[表示フォルダ切替]について

- 携帯情報端末など、FOMA端末以外でXMDF形式の電子書籍を利用していたときに、その電子書籍の入ったフォルダを表示できます。
- 利用されていた携帯情報端末によっては、フォルダを表示できないことがあります。
- SH-01Aより前に発売された機種でmicroSDカードに保存した電子書籍などは、[マンガ・ブックリーダー2]を選択すると表示できます。

[ファイルリストへ切替]について

- [マンガ]フォルダ内でフォルダとデータが混在する場合は、フォルダ一覧画面が表示されます。ファイルリストへ切替を行わないとデータ一覧画面は表示されません。

■ データ一覧画面のサブメニュー操作

[タイトル編集]（FOMA端末（本体）保存データ、[マンガ]フォルダ内のデータのみ） ☞P.357

[ファイル名編集]（microSD保存データのみ） ☞P.358

[削除] ☞P.358

[情報表示] ☞P.358

[移動／コピー]

- ▶[フォルダ間移動] ☞P.358
- ▶[microSDへ移動] ☞P.350
- ▶[microSDへコピー] ☞P.349

[表示フォルダ切替]▶フォルダを選ぶ▶⊙

- 表示フォルダ切替の詳細については☞P.372

[ソート]（[ｉモード]／[マンガ]フォルダ内のデータのみ） ☞P.358

[バックライト点灯時間]▶設定を選ぶ▶⊙

- 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[本体⇔microSD切替]

[フォルダリストへ切替]（[マンガ]フォルダ内のデータのみ）

- データ一覧画面からフォルダ一覧画面に切り替えます。

■ 内容表示画面のサブメニュー操作

[文字列コピー] ▶ 最初の文字を選ぶ ▶ ⦿ ▶ 最後の文字を選ぶ ▶ ⦿

[しおり設定]

▶ [しおりをはさむ] ▶ しおりを選ぶ ▶ ⦿

▶ [しおりへ移動] ▶ しおりを選ぶ ▶ ⦿

[情報表示] ☞P.358

[現在位置確認]

[移動]

▶ [目次] ▶ 項目を選ぶ ▶ ⦿
- 目次からページを表示します。

▶ [先頭へ]

▶ [最後へ]

▶ [リストへ]
- データ一覧画面に戻ります。

▶ [%指定移動] ▶ %を入力 ▶ ⦿
- 全体に対する位置を%で指定してページを移動します。

[文字読み取り] ☞P.230

[表示設定]

▶ [文字サイズ設定] ▶ 文字サイズを選ぶ ▶ ⦿

▶ [縦横設定] ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿
- 縦書き、横書きを切り替えます。

▶ [ルビ表示] ▶ [ON]
- ふりがなを表示します。

▶ [画像サイズ] ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿
- 画像を表示するサイズを切り替えます。

▶ [行間設定] ▶ [ON]
- 行間を広げます。

[マンガ表示設定] ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿

[音量設定] ▶ 音量を選ぶ ▶ ⦿

[バイブレータ設定] ▶ [ON]

[バックライト点灯時間] ▶ 設定を選ぶ ▶ ⦿
- 表示中のバックライトの点灯時間を設定します。

[文字列コピー]について
- 一度にコピーできる文字数は、最大全角128文字(半角128文字)です。ただし、一度にコピーできる文字数はコンテンツにより異なります。
- コピーできない文字もあります。
- 電子コミックによっては、文字列コピーができないものがあります。

[しおりをはさむ]について
- 1冊につき最大2個(最大10冊)のしおりを設定できます。
- 11冊目のしおりを設定すると、一番古いしおりが削除されます。

[しおりへ移動]について
- 電子コミックのページ表示画面では、[しおりへ移動]は選択できません。

自動しおりについて
- マンガ･ブックリーダーを終了すると、最後に表示していたページに[自動しおり1]が設定されます。
  次に同じ電子書籍などを表示し、終了した場合は、最後に表示していたページが[自動しおり1]に設定され、前回の[自動しおり1]は[自動しおり2]に設定されます。
- 1冊につき最大2個(最大10冊)の自動しおりを設定できます。
- 11冊目の自動しおりを設定すると、一番古い自動しおりが削除されます。
- パスワードが設定されているデータは、自動しおりが表示できません。

[移動]について
- 電子コミックのページ表示画面では、[移動]は選択できません。

[文字サイズ設定]、[縦横設定]、[ルビ表示]について
- データによっては、表示を切り替えることができないものや、表示の設定が指定されているものがあります。
- 電子コミックの吹き出しの中の文字は画像です。文字サイズ設定や縦横設定、ルビ表示は反映されません。
- データによってルビの有無は異なります。

[マンガ表示設定]について
- 電子コミックのコマ表示画面では、縮小、拡大はできません。

次ページへ続く▶▶

● 電子コミックによっては、コマ表示／ページ表示を切り替えることができないものがあります。

電子辞書で調べる

電子辞書で、用語を入力して調べることができます。

● 電子辞書は次のシャープオリジナルサイト「Sharp Space Town」でご購入いただけます。
http://www.spacetown.ne.jp/
・ パソコンからサイトに接続してご購入した電子辞書は、microSDカードに格納してFOMA端末で使用できます（☞P.345）。

1 カスタムメニューで[LifeKit] ▶ [マンガ・ブックリーダー]

2 電子辞書を選ぶ ▶ ⦿

3 入力欄を選ぶ ▶ ⦿

4 用語を入力 ▶ ⦿

• 255文字まで入力できます。

5 用語を選ぶ ▶ ⦿

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の情報を利用する

Phone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能を利用する

電子書籍などで反転表示された文字情報（電話番号、メールアドレス、URLなど）やPhone To（AV Phone To）、Mail To、Web To機能が埋め込まれた画像を利用して、電話発信やメール送信、サイト接続ができます。

1 内容表示画面で電話番号やメールアドレス、URLなどを選ぶ ▶ ⦿

• 画像のとき：画像を選ぶ ▶ ⦿ ▶ [リンクへ移動]

2 [はい]

• URLの場合、接続方法を選択するとサイト接続します。
• 電話発信やメール送信、サイト接続の操作については☞P.182

リンク先のページを表示する

文字列や画像に別のページのリンク情報が設定されているときは、そのページを表示できます。

1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ ▶ ⦿

動画／音声を再生する

画像に動画／音声の情報が設定されているときは、動画／音声を再生できます。

1 内容表示画面で画像を選ぶ ▶ ⦿ ▶ [動画／音声の再生]

マスク（目隠し）された文字列や画像を表示する

1 内容表示画面で文字列や画像を選ぶ

◆ **文字列を選ぶ ▶ ⦿**
◆ **画像を選ぶ ▶ ⦿ ▶ [マスクの切替]**

電子書籍／電子辞書／電子コミック内の画像を保存する

電子書籍などに表示された静止画を、マイピクチャ内の[カメラ]フォルダに保存できます。

● 画像保存件数は、最大2000件です。メモリの使用状況によっては、少なくなります。

1 内容表示画面で静止画を選ぶ ▶ ⦿ ▶ [マイピクチャ登録]

● PNG形式など、保存できない画像もあります。
● すべて著作権のある画像として保存されます。microSDカードへの保存や、メールへの添付はできません。